

[www.aiware-distribution.com](http://www.aiware-distribution.com)  
**Alware**  
Authorized Honeywell VA distributor

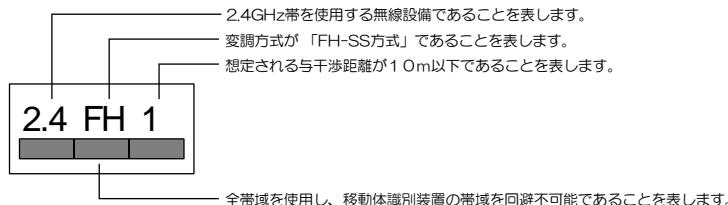
**Honeywell**



バー コード レーザ スキャナ  
取扱説明書

## 「電波について」

- 電波に関する注意 ■
- 本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
- 1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに使用場所を変更するか、電波の発射を停止してください。
- 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の端末設備として、技術適合証明を受けています。本製品の分解/改造は違法となります。
- 交通機関内や医療機関内などでは、本製品のご使用はお控えください。  
電子機器や心臓ベースメーカーなどへの影響の可能性もあるため、ご利用に関しては各交通機関及び各医療機関の案内及び指示に従ってください。



改訂記録	
改訂番号	改訂日
Rev.1.0	2011/05/19 (初版)
Rev.1.1	2011/09/08 P.4.3 RS232C イターフェイク初期化バーコードを修正
Rev.1.2	2012/02/29 P.1.4 充電池バッテリを交換手順、図を修正 P.2.4 写真差し替え 以下コマドバーコード修正/追加/削除 リモコンモード削除、FIPS暗号化削除、バーステーション通信圈外アラーム時間削除、 バーステーション通信圈外アラーム削除、Bluetooth パワーの設定削除、 PCリモート用SPP接続削除、PDA用SPP接続削除、 バーステーション接続追加、Bluetoothデバイス用SPP接続追加、 充電専用モード修正、充電&無線リモード修正、ロックリモード(ソックルスキヤ)修正、 オーバーリングモード(ソックルスキヤ)修正
Rev.1.3	2012/06/19 P.2.1-2.3 図を修正
Rev.1.4	2013/07/10 デバイタル値を通信圏外切り機能 オフに修正
Rev.1.5	2016/04/07 P.4.34 DNG8/DNG9 説明修正

1. 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
2. 本取扱説明書の全部又は一部を無断で複製することはできません。
3. 本書内に記載されている製品名等の固有名詞は各社の商標又は登録商標です。
4. 本書内において、万一誤り、記載漏れなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。
5. 運用した結果の影響について、責任を一切負いかねます。

## 製品保証と注意事項

### 「保証期間」

本製品の保証期間は、弊社出荷日より 5 年間です。

### 「保証範囲」

保証期間中に納入者側の責により故障を生じた場合は、納入者側において機器の修理または交換を行います。但し、保証期間内であっても、次に該当する場合は、保証対象から除外させていただきます。

1. 需要者側の不適当な取り扱いならびに使用
2. 故障の原因が納入者以外の事由に場合
3. 外装部品の損傷
4. 需要者側で改造・修理を行った場合
5. 天災地変による場合

尚、ここでいう保証は納入品単体の保障を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。

### 「FCC クラス B 適合について」

本装置は、FCC 規制のパート 15 に準拠するクラス B デジタル機器に対する制限に適合しております。これらの制限は、商業環境での使用において妥当な保護措置がなされています。しかし、居住地域に設置した場合、ラジオ・テレビなどへの妨害（受信障害）が起こることがあります。

### 「CE マークについて」

本装置に付いている CE マークは、2004/108/EC EMC に記載された EN55022:CLASS B, EN55024, EN61000-3-2, EN61000-3 規制に適合していることを示しています。また、弊社指定電源との出荷により、2006/95/EC Low Voltage Directive にも適合します。

### 「レーザスキャナに関する注意」



IEC60825-1

レーザスキャナには、クラス 2 準拠(最大出力 1.0mW, 630-650nm)のレーザを使用しています。レーザ照射窓を覗いたり、レーザビームを直視することは絶対にしないでください。

### 「Bluetooth 無線機器について」

Bluetooth 搭載モデルには、アメリカ電気・電子通信学会(IEEE)と米国規格協会(ANSI)が作成し、連邦通信委員会(FCC)によって採用が勧告されている RF IEC606-1 の安全レベルについて該当する最新規格に適合するように設計されています。

承認国	仕様
日本	TELEC
中国	SRRC
韓国	RR
台湾	DTG

### 「修理」

修理は全てセドバック方式で行います。現地での出張修理などは一切行いません。

### 「その他」

納入品の価格にはサービス費用は一切含んでおりません。

Blank page

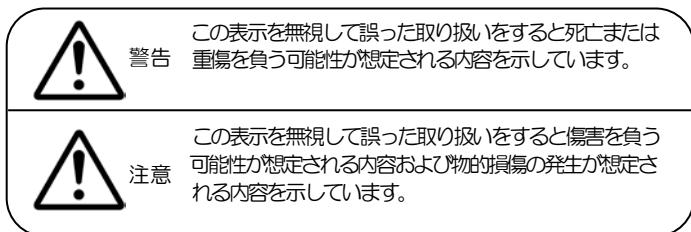
---

## 安全上のご注意

安全にお使い頂くために必ずお守りください。

警告・注意表示は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために守って頂きたい事項を示しています。

その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読み下さい。



### 絵記号の意味

	<b>&lt;注意&gt;</b> 一般的な注意、警告、危険の通知を示しています。		<b>&lt;禁止&gt;</b> 一般的な禁止を示しています。
	<b>&lt;発火注意&gt;</b> 発火の可能性が想定されることを示しています。		<b>&lt;水気禁止&gt;</b> 風呂、シャワーなどの水気の多い場所での使用を禁止することを示しています。
	<b>&lt;感電注意&gt;</b> 感電の可能性が想定されることを示しています。		<b>&lt;分解禁止&gt;</b> 製品の分解や改造を禁止することを示しています。
	<b>&lt;破裂注意&gt;</b> 破裂の可能性が想定されることを示しています。		<b>&lt;ケガ注意&gt;</b> 指を挟まれるなど、ケガを負う可能性が想定されることを示しています。



## 警告

■本装置を絶対に分解しないで下さい。

・故障・感電（火災）の原因になります。



■直射日光が長時間当たる場所、粉塵の多い場所、湿気が異常に多い場所、水を扱う場所、暖房機器など発熱物の近くでは使用しないで下さい。

・故障・感電（火災）の原因になります。



■ケーブルに重いものを載せないで下さい。また、ケーブルをねじったり、強く引張ったりしないで下さい。

・ケーブルの被覆破れや断線が発生し、故障・感電（火災）の原因になります。



■引火性のガスや発火性の物質のある場所及び薬品や化学物質などを扱う場所では、絶対に使用しないで下さい。

・火災・爆発・故障の原因になります。



■故障した状態のままで使用しないで下さい。異臭がする、煙が出たなどの異常が生じた時は、すぐに接続している機器の電源をOFFにしこネクタを抜いて下さい。

・感電（火災）の原因になります。





## 注意

■ 使用可能な温度・湿度内で使用して下さい。

・故障の原因になります。



■ 濡れた手でケーブルの接続や取り外しを行わないで下さい。

・故障・感電の原因になります。



■ 長期的な振動（バイクの荷台や自転車での移動）や強いショック（落下）を与えないで下さい。

・故障の原因になります。



■ 温度が激しく変化する場所（夏場の車内）や熱器具など熱を発生する物の近くに放置しないで下さい。

・装置のケースが変形したり、故障の原因になります。



■ 不安定な場所（棚など）でのご使用や保管は避けて下さい。

・不用意な落下による故障やけがの原因になります。



■ 挥発性の高い有機溶剤（シンナー・ベンジンなど）や薬品、化学雑巾で拭かないでください。また、殺虫剤を吹きかけないで下さい。

・ケースの変形や変色の原因になります。



Blank page

---

# Index

1.	はじめに .....	1.1
1.1	ご使用上の注意 .....	1.1
1.2	梱包内容の確認 .....	1.1
1.3	ワイヤレスキヤの LED・ビーピングインディケーター .....	1.2
1.4	ワイヤレスキヤを充電する .....	1.3
1.5	ワイヤレスキヤの充電池パックを交換する .....	1.4
2.	スキャナと PC と接続する .....	2.1
2.1	RS232C インターフェイで接続する .....	2.1
2.2	キーボード インターフェイで接続する .....	2.2
2.3	USB インターフェイで接続する .....	2.3
2.5	ワイヤレスキヤとペーステーションのリンクを確立する .....	2.4
3.	スキャナの読み取り操作 .....	3.1
3.1	スキャナの読み取り操作 .....	3.1
4.	ハメーテ設定 .....	4.1
4.1	システムコマンド .....	4.1
4.2	スキャナの簡単セットアップ .....	4.2
4.2.1	ワイヤレスキヤの初期化 .....	4.2
4.2.2	RS232C インターフェイの初期化 .....	4.3
4.2.3	DOS/V キーボード インターフェイの初期化 .....	4.3
4.2.4	USB キーボード インターフェイの初期化 .....	4.4
4.2.5	USB パーチャル COM インターフェイの初期化 .....	4.5
4.2.6	OPOS インターフェイの初期化 .....	4.6
4.2.7	Honeywell Bioptic AUX ポートインターフェイの初期化 .....	4.7
4.2.8	Datalogic <sup>TM</sup> Magellan <sup>®</sup> Bioptic AUX ポートインターフェイの初期化 .....	4.7
4.2.9	NCR Bioptic AUX ポートインターフェイの初期化 .....	4.7
4.2.10	プリフィックスインターフェイの初期化 .....	4.8
4.3	USB-HID 復帰時間 .....	4.13
4.4	キーボード インターフェイ .....	4.14
4.4.1	キーボード カットリ-の設定 .....	4.14
4.4.2	CAPS LOCK の設定 .....	4.14
4.4.3	ALT シーケンスの設定 .....	4.15
4.4.4	ブレーコード 送信の設定 .....	4.15
4.4.5	テキモード の設定 .....	4.15
4.4.6	スキャンドード 間デライの設定 .....	4.16
4.4.7	キーボード 動作モード の設定 .....	4.17
4.5	RS232C インターフェイ .....	4.18
4.5.1	ポートの設定 .....	4.18
4.5.2	データフォーマットの設定 .....	4.19
4.5.3	RTS/CTS ハンドシェイクの設定 .....	4.20
4.5.4	ACK/NAK ハンドシェイクの設定 .....	4.21
4.5.4	XON/XOFF ハンドシェイクの設定 .....	4.22
4.6	USB パーチャル COM インターフェイ .....	4.23
4.6.1	RTS/CTS ハンドシェイクの設定 .....	4.23
4.6.2	ACK/NAK ハンドシェイクの設定 .....	4.24
4.7	Bluetooth インターフェイ .....	4.25
4.7.1	ペーステーション接続の設定 .....	4.25
4.7.2	自動再リンクの設定 .....	4.26
4.7.3	通信圈外アラームの設定 .....	4.27
4.7.4	通信圈外モード機能/バッチモード の設定 .....	4.28
4.7.5	ワイヤレスキヤ名の設定 .....	4.31
4.7.6	ワーグループ 番号の設定 .....	4.33

4.7.7	SPP 接続の設定 .....	4.34
4.7.8	ホスト ESC コマンド の設定 .....	4.35
4.8	インデ イケータ.....	4.36
4.8.1	パワーアップブザーの設定 .....	4.36
4.8.2	BEL 受信ブザーの設定 .....	4.36
4.8.3	グッドリードフザーの設定 .....	4.37
4.8.4	Iラバブザーの設定 .....	4.39
4.8.5	LED インディケータの設定 .....	4.40
4.8	スキヤカボーション .....	4.42
4.8.1	プロゼクションモード の設定 .....	4.42
4.8.2	マニュアルアティベーシヨンモード の設定 .....	4.43
4.8.3	CodeGate®モード の設定 .....	4.45
4.8.4	オブジェクト検出モード の設定 .....	4.46
4.8.5	キャラクタアティベーシヨンモード の設定 .....	4.48
4.8.5	同一コード 読取ディレイの設定 .....	4.50
4.9	データ送信.....	4.51
4.9.7	データ送信シーケンスの設定 .....	4.51
4.9.2	ノーリード 送信の設定 .....	4.54
4.9.3	ファンクションコード 送信の設定 .....	4.54
4.9.4	チャックキャラクタ送信の設定 .....	4.54
4.9.5	キャラクタ間ディレイの設定 .....	4.55
4.9.6	指定キャラクタディレイの設定 .....	4.56
4.9.7	ファンクション間ディレイ・メッセージ間ディレイの設定 .....	4.57
4.9.8	プリフィックス/サフィックスの設定 .....	4.58
4.10	読み取りソボル(バー-コード)の設定 .....	4.61
4.10.1	コードバー-(NW7)の設定 .....	4.62
4.10.2	コード39 の設定 .....	4.64
4.10.3	インターバル 2/5 の設定 .....	4.66
4.10.4	NEC 2/5 の設定 .....	4.68
4.10.5	コード93 の設定 .....	4.70
4.10.6	ストレート2/5 の設定 .....	4.71
4.10.7	マトリクス2/5 の設定 .....	4.72
4.10.8	コード11 の設定 .....	4.74
4.10.9	コード128 の設定 .....	4.76
4.10.10	GS1-128 の設定 .....	4.78
4.10.11	Telepen の設定 .....	4.80
4.10.12	UPC-A の設定 .....	4.82
4.10.13	UPC-E の設定 .....	4.84
4.10.14	EAN/JAN-13 の設定 .....	4.86
4.10.15	EAN/JAN-8 の設定 .....	4.88
4.10.16	MSI の設定 .....	4.90
4.10.17	Plessey の設定 .....	4.92
4.10.18	GS1 Databar Omnidirectional の設定 .....	4.94
4.10.19	GS1 Databar Limited の設定 .....	4.95
4.10.20	GS1 Databar Expanded の設定 .....	4.96
4.10.21	GS1 エミュレーションの設定 .....	4.97
4.10.22	Trioptic コード の設定 .....	4.98
4.10.23	中国郵便コード の設定 .....	4.99
5.	シリアルコマンド .....	5.1
5.1	メニューコマンド .....	5.1
5.2	シリアルリガードコマンド .....	5.3

---

A.1	インタフェイスケーブルの交換 .....	A.1
A.2	メモリソス .....	A.1
A.3	EZConfig 設定コマンドリファレンス .....	A.2
A.4	データ編集機能 .....	A.3
A.4.1	データ編集コマンド .....	A.3
A.4.2	データ編集フォーマットの種類 .....	A.9
A.4.3	データ編集機能の設定例 .....	A.10
A.5	コード ID 表 .....	A.20
A.6	キボード コード 対応表 .....	A.22
A.7	ASCII コード 表 .....	A.24
A.8	トラブルシューティング .....	A.25
A.10	ソフトウェアコード .....	A.26
	修理依頼書 .....	A.27

Blank page

---

# 1. はじめに

この度は、Honeywell 社製レーザスキャナ(以下、スキャナ)をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

この説明書は、Honeywell 社のスキャナの基本的な使用方法と設定方法について説明しております。ご使用になられる前に必ずお読みください。

## 1.1 ご使用上の注意

本装置は精密な電子部品で構成されていますので、絶対に分解しないでください。本装置が万一故障した場合は、お買い上げの販売店までご連絡ください。

## 1.2 梱包内容の確認

本装置の梱包内容は、下記のようになっています。ご確認の上、万一不足、破損品がありましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。

(梱包内容)

### ケーブル式スキャナ

- ◆ スキャナ本体(指定インターフェイスケーブル付)-----1台
- ◆ インターフェイスケーブル -----1本
- ◆ AC アダプタ-----1個 (\*1)
- ◆ 簡易取扱説明書-----1冊

(\*1) AC アダプタは、別途購入した場合に付属します。

### ワイヤレス式スキャナ

- ◆ スキャナ本体-----1台
- ◆ 充電池パック-----1個
- ◆ AC アダプタ-----1個 (\*1)
- ◆ 簡易取扱説明書-----1冊

(\*1) AC アダプタは、別途購入した場合に付属します。

### ワイヤレス式スキャナ用ペーステーション又はアクセスポイント

- ◆ ペーステーション又はアクセスポイント-----1台
- ◆ インターフェイスケーブル -----1本
- ◆ AC アダプタ-----1個 (\*1)

(\*1) AC アダプタは、別途購入した場合に付属します。

梱包箱は、修理などで製品を返送する場合、輸送時の損傷を避けるために必要となります。大切に保管してください。

### 1.3 ワイヤレスキヤの LED・ビーピーインディケーター

ワイヤレスキヤ及びバーステーションは、ホーリーにステータスを知らせるための LED 及びビーピーインディケーターを搭載しており、それぞれ下記のステータスを意味します。

ワイヤレスキヤの LED・ビーピー		
LED	ビーピー	意味
<b>通常動作</b>		
赤色 点滅	無し	電池残量が少ない
緑色 点滅	1回ビーピー	通信成功又はリセット成功
赤色 点滅	低音ビーピー/エラービーピー	通信失敗
<b>設定メニュー・コード読み取り</b>		
緑色 点滅	2回ビーピー	設定成功
赤色 点滅	低音ビーピー/エラービーピー	設定失敗

バーステーションの充電ステータス LED	
LED	意味
緑色 点灯	80%以上 充電済み
緑色 低速点滅 <b>1秒毎 ON/OFF</b>	30% ~ 80% 充電済み
緑色 高速点滅 <b>300ミリ秒毎 ON/OFF</b>	30%未満 充電済み

バーステーションのシステムステータス LED	
LED	意味
赤色 点灯	電源 ON、待機中
赤色 低速点滅	電源 ON、自己診断モード
赤色 高速点滅	無線通信・ホット通信中
赤色 1回点滅 <b>約30秒毎に発生</b>	Bluetooth 無線インターフェース診断

## 1.4 ライレスキーを充電する

ライレスキーは、専用リチャージャブル充電池パックを採用しています。この充電池パックは、常時充電状態で約14時間(50,000キヤリ)<sup>1</sup>の動作が可能です。

ライレスキーをバーステーションに置くと、充電が自動的に行われます。充電が行われている間、バーステーションの充電ステータスLEDが緑色に点滅し、完了すると、常時点灯に変わります。充電時間は約4.5~5時間です。

**✓バーステーションの電源をUSBインターフェイスケーブルやキーボードインターフェイスケーブル経由でPCから供給している場合は、通常より長い充電時間が必要になります。専用ACアダプタの接続をお勧めします。**

### 充電池の寿命

充電池の特性上、十分な充電を行っても使用できる時間が短くなった時が交換の目安となります。**必ず、専用リチャージャブル充電池パックをお求めください。**

### 安全に、より長く充電池パックをご使用いただくために

- 充電池パックは、30%~60%程度充電された状態で出荷されています。ご購入後、最初に約5時間充電池パックを充電してください。
- 充電は、5~40°Cの環境で行ってください。
- 長期間使用しない場合は、液漏れの危険があるため、充電池パックを取り外して保管してください。
- 次頁の  危険・警告・注意をお読みの上、正しくお使いください。

### 充電池パック・充電器の注意

ライレスイメージャーで指定されている専用の充電池パック及び充電器を必ずご使用ください。液漏れ・発熱・破裂の恐れがあり、大変危険です。以下の事項を必ず守りください。

#### 危険

- 専用充電器以外では充電しない。
- ハサワ付けや分解・改造・変形をしない。
- 火中投入、加熱ショートしない。
- 液漏れした駆が目に入った時は、失明の恐れがありますので、こすらずにきれいな水で十分洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

#### 警告

- +-(プラスマイナス)を正しく入れる。
- +-+(プラスマイナス)を金属物に接触させない。また、金属製のネックレスやハビソと一緒に持ち運んだり保管しない。
- 外装カーブをはがしたり傷つけない。
- 液漏れした液が手や衣服に付いた時は直ちにきれいな水で洗い流すこと。
- 液漏れや変色、変形に気づいたときは使用しない。
- 乳幼児の手の届かない所へ保管する。万が一飲み込んだ場合は、すぐに医者に相談する。

<sup>1</sup> 動作時間・キヤリ数は目安です。運用状況、周囲環境により異なりますので、ご注意ください。

⚠ 注意

- 強い衝撃を与えると、投げつけない。
- 水に濡らさない。
- 充電した電池と放電した電池を混用しない。
- 新旧の電池を混用して使用しない。
- 使用しない時は、機器から取り外す。
- 専用の充電池及び充電器以外は使用しない。

充電池の廃棄について

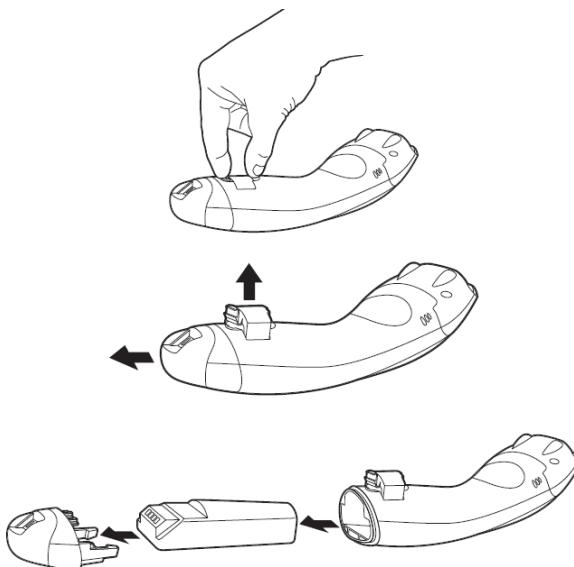
使用済みの充電池は「充電式電池サーキル協力店くらぶ」に加入の電気店またはスーパーなどに設置されているサーキルボックスに入れてください。



## 1.5 ワイヤレススキャナの充電池パックを交換する

下記の手順に従って、充電池パックの交換を行ってください。

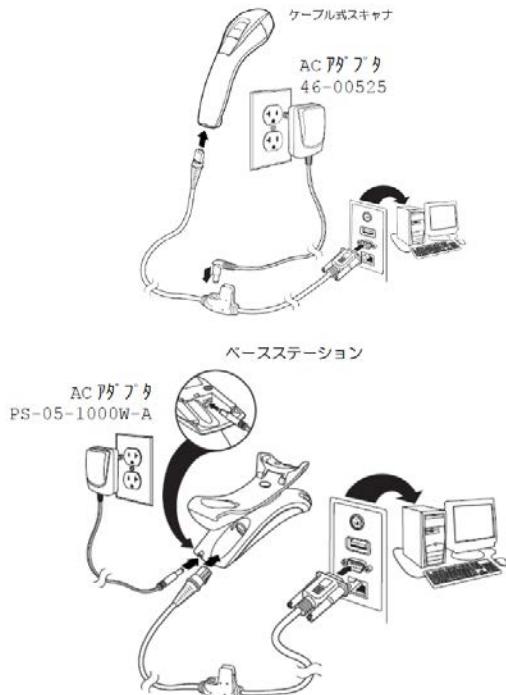
1. スキャナを裏返します。
2. バッテリロックの詰めの部分を抑えながら上に引き上げ、ボトムキャップを取り外します。
3. 新しい充電池パックをセットします。
4. ボトムキャップを元に戻し、バッテリロックを元通りすれば完了です。



## 2. キャナと PC と接続する

### 2.1 RS232C インターフェイスで接続する

下図を参照して、PC を接続してください。インターフェイの初期化については、本書「4.2 簡単セットアップ」を参照ください。

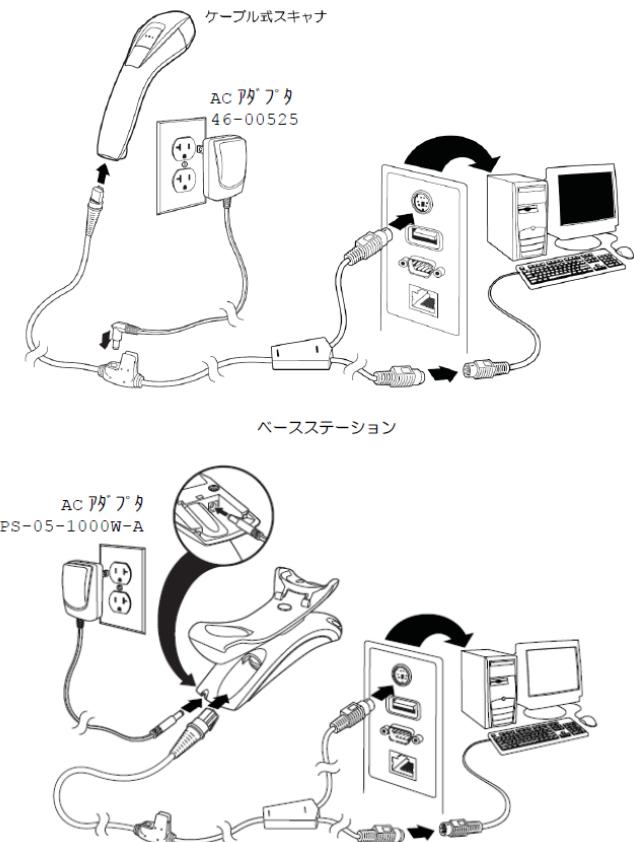


下記に RS232C インターフェイスケーブルのピン配列を示します。

RS232C インターフェイスケーブル ピン配列	
D-Sub9 メスコネクタ	
ピン番号	信号名
1	シリアル*
2	TxD
3	RxD
4	N/C
5	GND
6	N/C
7	CTS
8	RTS
9	スキャナ電源 DC5V

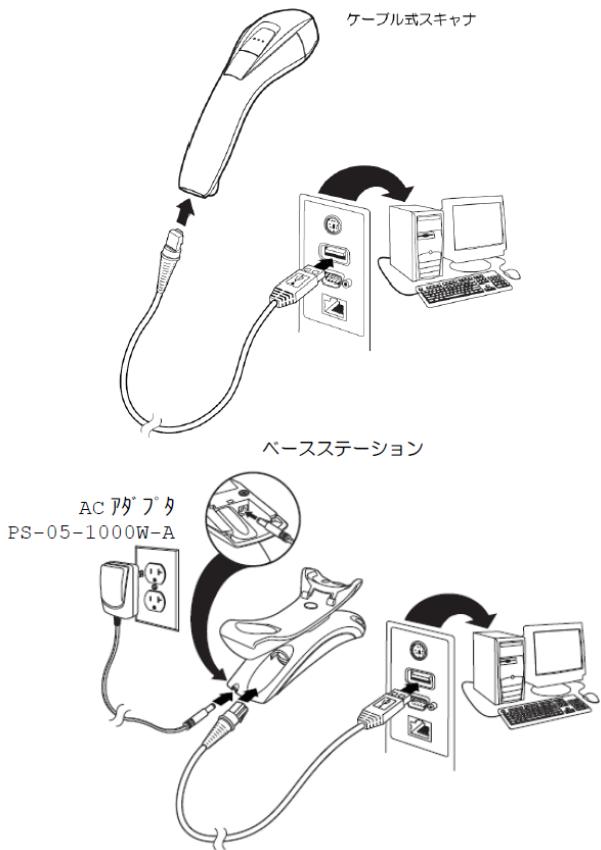
## 2.2 キーボードインターフェイクで接続する

下図を参照して、PC を接続してください。インターフェイクの初期化については、本書「4.2 簡単セットアップ」を参照ください。



## 2.3 USB インターフェイスで接続する

下図を参照して、PC を接続してください。インターフェイスの初期化については、本書「4.2 簡単セットアップ」を参考ください。



✓USB バーチャル COM ドライバのインストール方法は、製品に添付の簡易説明書及び別冊の「USB-COM ドライバインストール手順」を参照ください。

## 2.5 ワイヤレスキヤナとペーステーションのリンクを確立する

ご購入されたワイヤレスキヤナは、初期状態では、ペーステーションとのリンクが確立していないま  
せん。下記の手順に従って、リンクの確立を行ってください。

1. 前ページまでを参照して、PC とペーステーションを正しく接続します。
2. ワイヤレスキヤナをペーステーションにセットします。ビロードというビーフ音が鳴った後、  
リンク試行が始まります。ブップブップブップブップ...ビコ(ワイヤレスキヤナの緑色 LED  
も瞬時点灯)というビーフ音が鳴れば、リンクは成功です。



3. リンクが始まらない場合は、下記のマットバーコードをスキャンして、再度、イメージ  
ヤをペーステーションにセットしてみてください。



### ✓ペーステーションとのリンクが確立していない場合

1. トリガホックを押すと、ブッというビーフ音が鳴ります。
2. バーコードをスキャンすると、ブーフーーというビーフ音が鳴り、同時に  
赤色 LED が3回点滅します。

### 3. 入力の読み取り操作

本章では入力の読み取り操作について説明します。

#### 3.1 入力の読み取り操作

入力でバーコードを読み取る場合、下図に示す様にレーザビームが目的のバーコードの端から端まで横切るように照射します。

##### レーザビームの正しい照射例



##### レーザビームの間違った照射例



##### **CDRH Class 2**

最大出力 1mW の 630-650nm グラス 2 レーザを使用しています。レーザ照射窓を覗いたり、レーザビームを直視することは絶対にしないでください。

Blank page

## 4. パラメータ設定

スキャナのパラメータは本章に記載する専用コマンドバーコードを使って設定します。

パラメータ設定を始める前に、PCとスキャナを正しく接続し、バーコードの読み取りが行える状態にしてください。

コマンドバーコード表の使い方		
<b>アンドバーコード</b> このバーコードをスキャナすると、説明欄にあるパラメータ設定が行えます。	バーコード 説明 テーブル	<b>テープ出力</b> 付けたバーコード設定値を意味します。1-デジタルの設定値を書き込む紙として利用できます。  <b>説明</b> CAPS LOCK出力 CAPS LOCKを自動で出します。この設定は、CAPS LOCKキーのLEDを操作したPC-AT, PS2のみ有効です。

### 4.1 システムコマンド

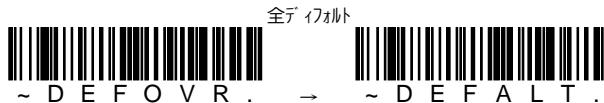
コマンドバーコード	説明
<b>全ディフォルト</b> ~ D E F O V R .  ↓ ~ D E F A L T .	パラメータ設定値を工場出荷時のディフォルト設定値に戻します。ワイヤレススキャナの場合は、ヘッドセットとの接続を再度確立させてください。
<b>カスタムディフォルト設定</b> ~ M N U C D F .	カスタムディフォルトを設定します。設定したい項目のコマンドバーコードをスキャナする前に左記のコマンドバーコードをスキャナします。
<b>カスタムディフォルト</b> ~ D E F A L T .	カスタムディフォルト設定値に戻します。ワイヤレススキャナの場合は、ヘッドセットとの接続を再度確立させてください。
<b>リピジョン表示</b> ~ R E V I N F .	リピジョンを出力します。
<b>データフォーマット設定表示</b> ~ D F M B K 3 ?	現在のデータフォーマット設定を出力します。

## 4.2 スキヤの簡単セットアップ

### 4.2.1 ワイヤレススキヤの初期化

最初にワイヤレススキヤとペーステーションのパラメータ設定値を工場出荷時の初期状態にリセットして、リンクを確立させます。リンクが確立すれば、各インターフェイスの初期化に進んでください。

1. PC とペーステーションを正しく接続します。
2. 下記の「全ディフォルト」コマンドバーコードを左から順にスキヤします。



3. ワイヤレススキヤをペーステーションにセットします。ビロ-というビーブ音が鳴った後、リンク試行が始まります。ブップブップブップ...ビコ(ワイヤレススキヤの緑色 LED も瞬時点灯)というビーブ音が鳴れば、リンクは成功です。



4. リンクが始まらない場合は、下記のコマンドバーコードをスキヤして、再度、スキヤをペーステーションにセットしてみてください。



パラメータ設定値を工場出荷時にリセットする必要が無い場合は、「全ディフォルト」コマンドバーコードをスキヤせず、リンクの確立のみを行い、各インターフェイスの初期化に進んでください。

#### ✓ペーステーションとのリンクが確立していない場合

1. トリガボタンを押すと、ブッというビーブ音が鳴ります。
2. バーコードをスキヤすると、ブーブーブー-というビーブ音が鳴り、同時に赤色 LED が3回点滅します。

#### 4.2.2 RS232C インターフェイスの初期化

PC とイメージャ又はペーステーションを RS232C インターフェイスケーブルで接続している場合は、この初期化メニューをご使用ください。

上から順番にスキヤソしてください

	RS232C インターフェイス
	9600/8/N/1, サフィックス CR/LF
	~ 2 3 2 W R D 2 .

※ 設定完了後、イメージャ及び PC の電源をオフにし、再立ち上げを行ってください。

#### 4.2.3 DOS/V キーボード インターフェイスの初期化

PC とイメージャ又はペーステーションを DOS/V キーボード インターフェイスケーブルで接続している場合は、この初期化メニューをご使用ください。

上から順番にスキヤソしてください(デスクトップ PC)

	PC AT キーボード デスクトップ PC データ+インターキー
	日本語キーボード

※ 設定完了後、イメージャ及び PC の電源をオフにし、再立ち上げを行ってください。

上から順番にスキャンしてください(ノートPC)

 ~ P A P A T .	PC AT キーボード デスクトップ PC データ+インターフェイ
 ~ K B D C T Y 2 8 .	日本語キーボード
 ~ K B D S T Y 5 .	外付キーボード インターフェイ

※ 設定完了後、イメージ及び PC の電源を切にし、再立ち上げを行ってください。

#### 4.2.4 USB キーボード インターフェイの初期化

PC とイメージ又はハードウェアを USB インターフェイスケーブルで接続している場合は、この初期化メニューをご使用ください。

(日本語キーボード)

 ~ T E R M I D 1 3 4 .	日本語 106/109 キーボード
--	-------------------

※ 設定完了後、イメージ及び PC の電源を切にし、再立ち上げを行ってください。

(英語キーボード)

 ~ P A P 1 2 4 .	英語 101/104 キーボード
---	------------------

※ 設定完了後、イメージ及び PC の電源を切にし、再立ち上げを行ってください。

(MAC キーボード)

 ~ P A P 1 2 5 .	MAC キーボード
--	-----------

※ 設定完了後、イメージ及び PC の電源を切にし、再立ち上げを行ってください。

(HID デバイス)

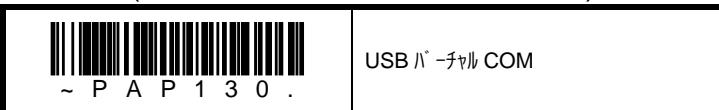
 ~ P A P 1 3 1 .	USB-HID
--	---------

※ 設定完了後、イメージ及び PC の電源を切にし、再立ち上げを行ってください。

#### 4.2.5 USB バーチャル COM インタフェイスの初期化

PC と接続する場合は、USB インタフェイスケーブルで接続している場合は、この初期化メニューをご使用ください。

(Windows XP/Server 2003 以降)



※ 設定完了後、スイッチ及び PC の電源を切り、再立ち上げを行ってください。

USB バーチャル COM ドライバを弊社 WEB サイトより入手してください。

[http://www.aiware-distribution.com/support/dl\\_driver.htm](http://www.aiware-distribution.com/support/dl_driver.htm)

USB/バーチャルCOM(USB-COM) ドライバ

Xenon 1900/1902/2020ベース, 3800g, 3800i, 3800l, 4206, 4600g, 4600r, 4800dr, 4800i, 4800p, 5110/5180/N5600エンジン, QC890, MS4980, MS3580, MS3780, MS7580, MS7120, MS7820, MS9535, MS9540, Voyager 1200, Hyperion 1300 他 対応

USB/バーチャルCOM(USB-COM)ドライバ

[4MB](#)

[hsm\\_usbcom.zip](#)

#### 4.2.6 OPOS インターフェイスの初期化

スピーカをOPOSインターフェイスで運用する場合は、この初期化メニューをご使用ください。



※ 設定完了後、スピーカ及びPCの電源を切にし、再立ち上げを行ってください。

スピーカは初期化のように初期化されます。

インターフェイス	RS232C 38,400bps/8/N/1
ハンドシェイク	フロー制御有り、タイムアウト無し XON/XOFF 制御無し ACK/NAK 無し
アリフィックス	無し
コード ID	有り, AIM ID アリフィックス
サフィックス	有り, CR
キャラクタ間ディレイ	無し
読み取コード	UPC-A チェックデイジットシステムナバード有り UPC-E0 チェックデイジット有り EAN/JAN-8 チェックデイジット有り EAN/JAN-13 チェックデイジット有り コード 128 コード 39

OPOSドライバを弊社WEBサイトより入手してください。

[http://www.aware-distribution.com/support/dl\\_driver.htm](http://www.aware-distribution.com/support/dl_driver.htm)

#### OPOS/JAVAPOSドライバ

Xenon 1900/1902シリーズ他 対応

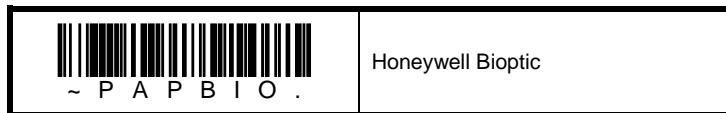
OPOS/JAVAPOSドライバ

[hw-opos.zip](#)

44MB

#### 4.2.7 Honeywell Bioptic AUX ポートインターフェイスの初期化

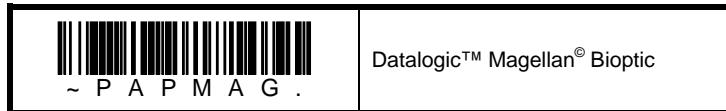
スキヤケを Honeywell Bioptic AUX ポートインターフェイスで運用する場合は、この初期化メニューをご使用ください。



※ 設定完了後、スキヤケ及び PC の電源を切にし、再立ち上げを行ってください。

#### 4.2.8 Datalogic™ Magellan® Bioptic AUX ポートインターフェイスの初期化

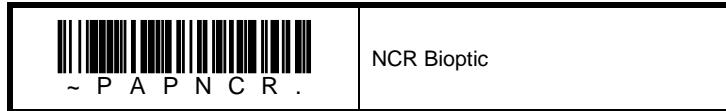
スキヤケを Datalogic™ Magellan® Bioptic AUX ポートインターフェイスで運用する場合は、この初期化メニューをご使用ください。



※ 設定完了後、スキヤケ及び PC の電源を切にし、再立ち上げを行ってください。

#### 4.2.9 NCR Bioptic AUX ポートインターフェイスの初期化

スキヤケを NCR Bioptic AUX ポートインターフェイスで運用する場合は、この初期化メニューをご使用ください。



※ 設定完了後、スキヤケ及び PC の電源を切にし、再立ち上げを行ってください。

## 4.2.10 プリフィックス/サフィックスの初期化

プリフィックスは読み取ったデータの前に付加される固定データ、サフィックスは読み取ったバーコードの後ろに付加される固定データを意味します。それぞれ 11 文字までの任意のキャラクタを設定できます。

プリフィックス (max.11 文字)	読み取データ	サフィックス (max.11 文字)
------------------------	--------	-----------------------

デバイタルトは、プリフィックス 無し・サフィックス 無しです。変更が必要な場合は、下記から希望する初期化メニューを上から順番に読み取ってください。

また、任意の文字列を設定したい場合は、「4.9.6 プリフィックス/サフィックスの設定」を参照ください。

**プリフィックス 無し/サフィックス 無し**

上から順番に入力してください

	全プリフィックス クリア
	全サフィックス クリア

**プリフィックス 無し/サフィックス CR(インターキー)**

上から順番に入力してください

	全プリフィックス クリア
	全サフィックス CR(インターキー)

フリフィックス 無し/サフィックス エンターキー(テソキー)

上から順番にスキャンしてください

	全フリフィックス クリア ~ P R E C A 2 .
	サフィックス設定開始 ~ S U F B K 2 .
	全シボル ~ K 9 K
	
	エンターキー(テソキー) ~ K 0 K
	
	サフィックス設定終了 ~ M N U S A V .

プリフィックス 無しサフィックス TAB キー

上から順番に入力してください

 ~ P R E C A 2 .	全プリフィックス クリア
 ~ S U F B K 2 .	サフィックス設定開始
 ~ K 9 K	全シンボル
 ~ K 9 K	
 ~ K 0 K	TAB キー
 ~ K 9 K	
 ~ M N U S A V .	サフィックス設定終了

プリフィックス 無し/サフィックス CR/LF

上から順番にスキヤソしてください

	全プリフィックスクリア ~ P R E C A 2 .
	サフィックス設定開始 ~ S U F B K 2 .
	全シボル ~ K 9 K
	
	CR ~ K 0 K
	
	LF ~ K 0 K
	
	サフィックス設定終了 ~ M N U S A V .

アリフィックス STX/サフィックス ETX

上から順番にスキャンしてください

 ~ P R E B K 2 .	アリフィックス設定開始
 ~ K 9 K	全シホル
 ~ K 9 K	
 ~ K 0 K	STX
 ~ K 2 K	
 ~ M N U S A V .	アリフィックス設定終了
 ~ S U F B K 2 .	サフィックス設定開始
 ~ K 9 K	全シホル
 ~ K 9 K	
 ~ K 0 K	ETX
 ~ K 3 K	
 ~ M N U S A V .	サフィックス設定終了

### 4.3 USB-HID 復帰時間

USB 復帰時間を設定しておくことで、USB バーチャル COM インターフェイスなどで PC との接続が正常に確立できなかった場合に、自動的に USB-HID インターフェイスに復帰させることができます。USB 復帰時間には、0~60 分を設定でき、デフォルト値は、5 分です。

コマンドバーコード	説明	デフォルト	
	USB フォルバーコード 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャナし、続けて「数値バーコード表」から 0~60 をスキャナし、最後に「確定」バーコードをスキャナします。	5	
数値バーコード表			
	0		1
	2		3
	4		5
	6		7
	8		9
	確定		破棄

## 4.4 キーボードインターフェイス

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ K B D D F T .	キーボードインターフェイスデフォルト	

### 4.4.1 キーボードカントリーの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ K B D C T Y 0 .	USA	■
 ~ K B D C T Y 2 8 .	日本	

### 4.4.2 CAPS LOCK の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ K B D S T Y 0 .	CAPS LOCK オン 通常 CAPS LOCK オンで PC を使用します。	■
 ~ K B D S T Y 1 .	CAPS LOCK オフ 通常 CAPS LOCK オフで PC を使用します。	
 ~ K B D S T Y 2 .	SHIFT LOCK オン 通常 SHIFT LOCK オンで PC を使用します。	
 ~ K B D S T Y 6 .	CAPS LOCK 自動検出 CAPS LOCK 状態を自動検出します。この設定は、CAPS LOCK ステータス LED を搭載した PC-AT, PS/2 のみ有効です。	

#### 4.4.3 ALT シーケンスの設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
	ALT シーケンス オン ~ K B D A L T 0 .	■
	ALT シーケンス オン (ALT+3 キャラクタ) ~ K B D A L T 6 .	
	ALT シーケンス オン (ALT+4 キャラクタ) ~ K B D A L T 7 .	

#### 4.4.4 ブレーカー送信の設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
	ブレーカー送信 オン <FO>送信 オン ~ K B D F 0 B 0 .	
	ブレーカー送信 オフ <FO>送信 オフ ~ K B D F 0 B 1 .	■

#### 4.4.5 テキモードの設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
	テキモード オン 数字データをテキ入力として送信します。 ~ K B D N P S 1 .	
	テキモード オフ 数字データをフルキーボード入力として送信します。 ~ K B D N P S 0 .	■

#### 4.4.6 スキャコード間ディレイの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ K B D D L Y .	スキャコード間ディレイ設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード」表から0～30をスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、ミリ秒です。	0 (0.8ミ秒)
数値バーコード表		
		0
		2
		4
		6
		8
		9
確定	破棄	

#### 4.4.7 キーボード動作モードの設定

コマンドバーコード	説明	デバイフル
 ~ K B D S T Y 5 .	外付けキーボードエミュレーション ノートPCで外付けキーボードを接続しない場合に設定します。 <u>設定後、必ずノートPCの電源を再立ち上げしてください。</u>	
 ~ K B D C N V 0 .	大文字/小文字変換送信 オフ	
 ~ K B D C N V 1 .	大文字変換送信 オフ	
 ~ K B D C N V 2 .	小文字変換送信 オフ	
 ~ K B D C A S 3 .	プリフィックスサフィックス オフ(Windows) CTRL+ASCII入力をかにします。 実際送信されるキーは、本書「A.6 キーボードコード 対応表」を参照下さい。	
 ~ K B D C A S 2 .	<u>CTRL+ASCII入力 オン(Windows)</u> CTRL+ASCII入力をかにします。 実際送信されるキーは、本書「A.6 キーボードコード 対応表」を参照下さい。	
 ~ K B D C A S 1 .	<u>CTRL+ASCII入力 オン(DOS)</u> CTRL+ASCII入力をかにします。 実際送信されるキーは、本書「A.6 キーボードコード 対応表」を参照下さい。	
 ~ K B D C A S 0 .	<u>CTRL+ASCII入力 オフ</u> CTRL+ASCII入力をかにします.	■
 ~ K B D T M D 1 .	ファンクションコード 送信 オフ ファンクションコード 送信をかにします。 実際送信されるキーは、本書「A.6 キーボードコード 対応表」を参照下さい。	
 ~ K B D T M D 0 .	ファンクションコード 送信 オフ ファンクションコード 送信をかにします。	

## 4.5 RS232C インターフェイス

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ 2 3 2 D F T .	RS232C インターフェイスデフォルト	

### 4.5.1 ポートレートの設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ 2 3 2 B A D 0 .	300bps	
 ~ 2 3 2 B A D 1 .	600bps	
 ~ 2 3 2 B A D 2 .	1,200bps	
 ~ 2 3 2 B A D 3 .	2,400bps	
 ~ 2 3 2 B A D 4 .	4,800bps	
 ~ 2 3 2 B A D 5 .	9.600bps	■
 ~ 2 3 2 B A D 6 .	19,200bps	
 ~ 2 3 2 B A D 7 .	38,400bps	
 ~ 2 3 2 B A D 8 .	57,600bps	
 ~ 2 3 2 B A D 9 .	115,200bps	

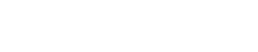
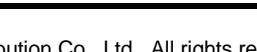
## 4.5.2 データフォーマットの設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ 2 3 2 W R D 3 .	データビット 7 ストップビット 1 パリティ 偶数	
 ~ 2 3 2 W R D 0 .	データビット 7 ストップビット 1 パリティ 無し	
 ~ 2 3 2 W R D 6 .	データビット 7 ストップビット 1 パリティ 奇数	
 ~ 2 3 2 W R D 4 .	データビット 7 ストップビット 2 パリティ 偶数	
 ~ 2 3 2 W R D 1 .	データビット 7 ストップビット 2 パリティ 無し	
 ~ 2 3 2 W R D 7 .	データビット 7 ストップビット 2 パリティ 奇数	
 ~ 2 3 2 W R D 5 .	データビット 8 ストップビット 1 パリティ 偶数	
 ~ 2 3 2 W R D 2 .	データビット 8 ストップビット 1 パリティ 無し	■
 ~ 2 3 2 W R D 8 .	データビット 8 ストップビット 1 パリティ 奇数	

### 4.5.3 RTS/CTS ハンド シエイクの設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
	RTS/CTS ハンド シエイク オフ (タイムアウト無し)	
	RTS/CTS ハンド シエイク オフ (タイムアウト有り)	
	RTS/CTS ハンド シエイク オフ	■
	<u>RTS/CTS ハンド シエイクタイムアウト</u> 左記のコマンド バーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を1~5100の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、ミリ秒です。	1000 (1 秒)
<b>数値バーコード表</b>		
		0                    1
		2                    3
		4                    5
		6                    7
		8                    9
<b>確定</b>		
<b>破棄</b>		

## 4.5.4 ACK/NAK ハンドシェイクの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
	ACK/NAK ハンドシェイク オン	
	ACK/NAK ハンドシェイク オフ	■
	ACK/NAK ハンドシェイクタイムアウト 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を1~65535の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、ミリ秒です。	2000 (2秒)
	NAKリトライ回数 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を0~255の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。推奨値は、5です。	0
数値バーコード表		
		0
		1
		2
		3
		4
		5
		6
		7
		8
		9
		確定

#### 4.5.4 XON/XOFF ハンド シエイの設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ 2 3 2 X O N 1 .	XON/XOFF ハンド シエイ オン	
 ~ 2 3 2 X O N 0 .	XON/XOFF ハンド シエイ オフ	■

## 4.6 USB ハーチャル COM インタフェイス

### 4.6.1 RTS/CTS ハンドシェイクの設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ U S B C T S 1 .	RTS/CTS ハンドシェイク オン	
 ~ U S B C T S 0 .	RTS/CTS ハンドシェイク オフ	■

## 4.6.2 ACK/NAK ハンド シエイの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ U S B A C K 1 .	ACK/NAK ハンド シエイ オン	
 ~ U S B A C K 0 .	ACK/NAK ハンド シエイ オフ	■
 ~ 2 3 2 D L K .	ACK/NAK ハンド シエイタイムアウト 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード」表から設定したい値を 1~65535 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、ミ秒です。	2000 (2秒)
 ~ H S T R T N .	NAK リトライ回数 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード」表から設定したい値を 0~255 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。推奨値は、5 です。	0
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

## 4.7 Bluetooth インターフェイ

### 4.7.1 ベースステーション接続の設定

コマンド バーコード	説明	デバイス
 ~ R E S E T .	ワイヤレスキャナリセット ワイヤレスキャナをリセットします。	
 ~ B T R M V .	リソク解除 ワイヤレスキャナとベースステーションのリソクを解除します。	
 ~ : * : B A S L N K 0 .	充電専用モード ベースステーションの無線をオフにします。	
 ~ : * : B A S L N K 1 .	充電&無線リソクモード ベースステーションの無線をオフにします。	
 ~ : * : B A S C O N 0 .	ロックリソクモード (シングルスキャナ) ロックリソクモードに設定します。1つのベースステーションに1台のワイヤレスキヤを接続できます。但し、オープソリソクモードと異なり、新しいワイヤレスキヤをベースステーションにセットしても、リソクが新たに確立されることはできません。	■
 ~ : * : B A S C O N 1 .	オープソリソクモード (シングルスキャナ) オープソリソクモードに設定します。1つのベースステーションに1台のワイヤレスキヤを接続できます。 <u>ロックリソクモードと異なり、新しいワイヤレスキヤをベースステーションにセットすると、そのだけりソクが新たに確立されます。</u>	
 ~ B T R P L 1 .	強制再リソク(ロックリソクモード) ロックリソクモードで、強制的に新しいワイヤレスキヤとリソクを確立します。	

## 4.7.2 自動再リソクの設定

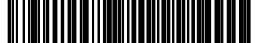
コマンドバーコード	説明	デフォルト
	自動再リソク オン	■
	自動再リソク オフ	
	最大リソク試行回数 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を0~100の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	0
	再リソクタイムアウト 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を1~100の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。 設定単位は、秒です。	3
数値バーコード表		
		0
		2
		4
		6
		8
		確定
		破棄

- ✓ 最大リソク試行回数内に再リソクが確立できなかった場合、ワイヤレスキーは再リソク試行を中止します。再度、再リソクを試行したい場合は、ワイヤレスキーのトリガを引くか、ワイヤレスキーをペースニットにセットします。これにより、最大リソク試行回数カウントが0にリセットされます。
- ✓ 最大リソク試行回数を0に設定した場合は、パワータイムアウト(「4.8.2 パワータイムアウトの設定」を参照)で設定された時間が適用されます。
- ✓ 再リソクタイムアウトは、再リソクを試行する間隔を意味します。

### 4.7.3 通信圈外アラームの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ B T O R D .	ワイヤレスキヤナ通信圏外アラーム時間 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい設定したい値を0~3,000の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、秒です。	0(無し)
 ~ B T O R W .	ワイヤレスキヤナ通信圏外アラームタイプ 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい設定したい値を0~7の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	0
数値バーコード表		
		0
		2
		4
		6
		8
		確定 破棄

#### 4.7.4 通信圏外メモリ機能パッセードの設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ B A T E N A 1 .	通信圏外メモリ機能 オフ ワイヤレスキヤが通信圏外で読み取ったデータをフラッシュメモリにメモリします。メモリされた読み取データは、ワイヤレスキヤが通信圏内に戻った時点で、自動送信されます。	
 ~ B A T E N A 0 .	通信圏外メモリ機能 オフ ワイヤレスキヤが通信圏外で読み取ったデータは保存されません。	■
 ~ B A T E N A 2 .	パッセード オン ワイヤレスキヤは通信圏内・圏外に関係なく、読み取ったデータをフラッシュメモリにメモリします。メモリされた読み取データは、ワイヤレスキヤをペーステーションにセットするか、「メモリデータ送信」コマンド バーコードがキャッチすると、送信されます。	
 ~ B A T D L Y 0 .	メモリデータ送信ディレイ 0 (無し)	■
 ~ B A T D L Y 250 .	メモリデータ送信ディレイ 250 ミリ秒	
 ~ B A T D L Y 500 .	メモリデータ送信ディレイ 500 ミリ秒	
 ~ B A T D L Y 1000 .	メモリデータ送信ディレイ 1,000 ミリ秒	

- ✓ メモリデータ送信ディレイは、メモリされた読み取データを送信する際に、各読み取データ間に挿入されるディレイです。
- ✓ メモリが一杯になると、エラーフラグを鳴動し、これ以上メモリできることをペーレタに知らせます。メモリ内の読み取データの送信を行ってください。

## 4.7.4.1 バッヂモードの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ B A T Q T Y 1 .	数量モード オフ 数量モードをオフにします。 例えば、XYZというコードを3回スキャンすると、XYZ, 0003というデータがメモリされます。また、コードをスキャンした後、次頁の数量バーコードで直接数量データを入力・編集することができます。	
 ~ B A T Q T Y 0 .	数量モード オフ 数量モードをオフにします。 例えば、XYZというコードを3回スキャンすると、XYZというデータが3件戻りされます。	■
 ~ B A T L I F 0 .	メモリデータ送信 FIFO	■
 ~ B A T L I F 1 .	メモリデータ送信 LIFO	
 ~ B A T U N D .	最終メモリデータ削除	
 ~ B A T C L R .	メモリデータ全削除	
 ~ B A T T X .	メモリデータ送信	

数量バーコード	
	~ B A T N U M 0 . 0
	~ B A T N U M 1 . 1
	~ B A T N U M 2 . 2
	~ B A T N U M 3 . 3
	~ B A T N U M 4 . 4
	~ B A T N U M 5 . 5
	~ B A T N U M 6 . 6
	~ B A T N U M 7 . 7
	~ B A T N U M 8 . 8
	~ B A T N U M 9 . 9

**数量バーコードの使い方**

目的のコードを読み取った後、1~9999(デフォルト値 1)の範囲で数量バーコードを入力します。

**例 1) 数量データを 5 したい場合**

1. 目的のコードを入力
2. 数量バーコード「5」を入力

**例 2) 数量データを 1500 したい場合**

3. 目的のコードを入力
4. 数量バーコードを「1」→「5」→「0」→「0」の順で入力

**例 3) 数量データを 103 を 10 に変更したい場合**

1. 数量バーコード「0」を入力 (数量データが 0103 → 1030 となる)
2. 数量バーコード「0」を入力 (数量データが 1030 → 0300 となる)
3. 数量バーコード「1」を入力 (数量データが 0300 → 3001 となる)
4. 数量バーコード「0」を入力 (数量データが 3001 → 0010 となる)

#### 4.7.5 ワイヤレスキー名の設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~BT NAM0001.	ワイヤレスキー名「0001」	
 ~BT NAM0002.	ワイヤレスキー名「0002」	
 ~BT NAM0003.	ワイヤレスキー名「0003」	
 ~BT NAM0004.	ワイヤレスキー名「0004」	
 ~BT NAM0005.	ワイヤレスキー名「0005」	
 ~BT NAM0006.	ワイヤレスキー名「0006」	
 ~BT NAM0007.	ワイヤレスキー名「0007」	
 ~RESET.	リセット ワイヤレスキーをリセットし、ペーステーションと再リンクします。	

- ✓ワイヤレスキー名は、シリアルコマンド(5. シリアルコマンド 参照)のパケット内で使用します。
- ✓ワイヤレスキー名を設定した場合は、必ずリセットを行って下さい。
- ✓ペーステーションに複数の同一ワイヤレスキー名がリッソしている場合は、最初にリソリッドしたワイヤレスキーがシリアルコマンドを受信します。
- ✓任意のワイヤレスキー名を設定する場合は、次頁をご利用下さい。

コマンド バーコード	説明	デフォルト	
 ~ B T N A M .	スキヤ名 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「英数字バーコード表」から設定したい10桁迄のスキヤ名をスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。例えば、スキヤ名を ABCD とする場合、ABCD「確定」の順でスキャンします。		
 ~ R E S E T .	リセット スキヤをリセットし、バーステーションと再リンクします。		
英数字バーコード表			
 0	 1	 2	 3
 4	 5	 6	 7
 8	 9	 A	 B
 C	 D	 E	 F
 G	 H	 I	 J
 K	 L	 M	 N
 O	 P	 Q	 R
 S	 T	 U	 V
 W	 X	 Y	 Z
 確定		 破棄	

- ✓ ウイルススキヤ名は、シリアルコマンド(5. シリアルコマンド 参照)のパケット内で使用します。
- ✓ ウイルススキヤ名を設定した場合は、必ずリセットを行って下さい。
- ✓ バーステーションに複数の同一ウイルススキヤ名がリソースしている場合は、最初にリソース確立したウイルススキヤがシリアルコマンドを受信します。

#### 4.7.6 ワークグループ番号の設定

ワイヤレスキヤナにワークグループ番号を設定することで、ワークグループ毎に異なるパラメータ設定値を持たせることができます。また、ワークグループ番号指定して、**ESCコマンド**（「4.7.10 エスエスシーコマンドの設定」を参照）を送信し、各ワイヤレスキヤナのビーピングやLEDを制御することが可能になります。

コマンド バーコード	説明	デバイフルト
 ~ G R P S E L 0 .	ワークグループ番号「0」	■
 ~ G R P S E L 1 .	ワークグループ番号「1」	
 ~ G R P S E L 2 .	ワークグループ番号「2」	
 ~ G R P S E L 3 .	ワークグループ番号「3」	
 ~ G R P S E L 4 .	ワークグループ番号「4」	
 ~ G R P S E L 5 .	ワークグループ番号「5」	
 ~ G R P S E L 6 .	ワークグループ番号「6」	

✓ワークグループは、バーステーションと接続する場合に有効です。他のBluetoothデバイスでは使用できません。

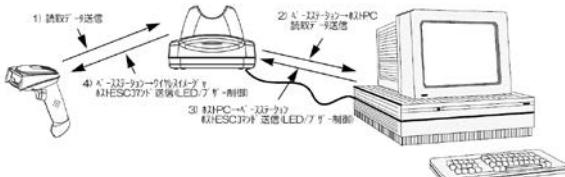
### 4.7.7 SPP 接続の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト	
	Bluetooth デバイス SPP 接続 ~ B T D N G 9 .		
	ペーステーション接続 ~ B T D N G 8 .	■	
	PIN コード 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキヤシし、続けて「英数字バーコード表」から設定したい 16 衔迄の PIN コードをスキヤシし、最後に「確定」バーコードをスキヤシします。 例えば、PIN コードを 123456 とする場合、123456「確定」の順でスキヤシします。	1234	
	SPP 接続解除 SPP 接続を解除します。		
英数字バーコード表			
			
			
			
			
			
			
			
			
			
			
確定		破棄	

- ✓複数のスキヤを1つの仮想 COM ポートに接続することはできません。  
 ✓通信圏外から通信圏内に戻った場合でも、自動的に再接続はできません。

#### 4.7.8 オト ESC コマンドの設定

オト ESC コマンドをオトにすることで、PC からワイヤレスキヤの LED やブザーを制御することができます。例えば、PC 側で読み取データをデータ入と照合検査し、合致しない場合、オーレーに対応して、エラーモードを知らせることができます。また、1つのビーステーションに対応して、複数のワイヤレスキヤをリンクさせている場合でも、各ワイヤレスキヤにワーグループ番号を割り当てることで、個別にオト ESC コマンドを送信することができます。



オト ESC コマンド バーコードフォーマット		
ワーグループ番号(1バイト)	ESC コマンド(可変長)	ターミネータ(1バイト)
0(0x30) ~ 6(0x36)	<ESC>a	, (0x2C)
例) ワーグループ番号 0 のワイヤレスキヤに対して、<ESC>5<ESC>6 ]コマンドを送信 送信バーコード : 0<ESC>5<ESC>6, <ESC>=0x1B		
コマンドリスト		
<ESC>a パラメータ変更成功時と同じ動作、ビーピー(ビーピー) + 緑色 LED1 回点滅		
<ESC>b パラメータ変更失敗時と同じ動作、ビーピー(ビーピー) + 赤色 LED 3 回点滅		
<ESC>1 緑色 LED 135 ミ秒間点灯(連続点灯時は、70 ミ秒以上の間隔要)		
<ESC>2 緑色 LED 2 秒間点灯(連続点灯時は、500 ミ秒以上の間隔要)		
<ESC>3 緑色 LED 5 秒間点灯(連続点灯時は、500 ミ秒以上の間隔要)		
<ESC>4 低音ビーピーを 1 回鳴動		
<ESC>5 中音ビーピーを 1 回鳴動		
<ESC>6 高音音ビーピーを 1 回鳴動		
<ESC>7 読取/通信 OK、ビーピー(ビーピー) + 緑色 LED1 回点滅		
<ESC>8 読取/通信 NG(<ESC>b 同等)、ビーピー(ビーピー) + 赤色 LED 3 回点滅		

コマンド バーコード	説明	デバイスポート
~ H S T A C K 1 .	オト ESC コマンド ACK オン ワイヤレスキヤは読み取データ送信後、オト ESC コマンド受信待ちになります。オト ESC コマンドを受信すれば、その動作を行った後、次のコード読み取りに移ります。10 秒以内に受信できなければ、タイムアウトとなり、エラービーピーを鳴動します。	
~ H S T A C K 0 .	オト ESC コマンド ACK オフ	■

- ✓ オト ESC コマンドは、RS232C/USB バーコード COM インタフェイスで使用できます。
- ✓ RS232C インタフェイスの場合は、オーレートを 9,600bps 以下に設定してください。

## 4.8 インデ イケータ

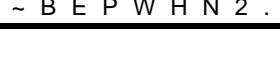
### 4.8.1 ハ°ワーアップ°ブ'サ"-の設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ B E P P W R 1 .	ハ°ワーアップ°ブ'サ"- オン	■
 ~ B E P P W R 0 .	ハ°ワーアップ°ブ'サ"- オフ	

### 4.8.2 BEL 受信ブ'サ"-の設定

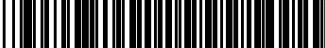
コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ B E L B E P 1 .	BEL 受信ブ'サ"- オン	
 ~ B E L B E P 0 .	BEL 受信ブ'サ"- オフ	■

### 4.8.3 ゲッドリードブザーの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ B E P B E P 1 .	ゲッドリードブザーオン	■
 ~ B E P B E P 0 .	ゲッドリードブザーオフ	
 ~ B E P L V L 0 .	ブザー音量 無し	
 ~ B E P L V L 1 .	ブザー音量 小	
 ~ B E P L V L 2 .	ブザー音量 中	
 ~ B E P L V L 3 .	ブザー音量 大	■
 ~ B E P F Q 1 1 6 0 0 .	ブザー周波数 1,600Hz	
 ~ B E P F Q 1 4 2 0 0 .	ブザー周波数 4,200Hz	
 ~ B E P F Q 1 2 3 5 0 .	ブザー周波数 2,350Hz	■
 ~ B E P B I P 0 .	ブザー長 ノーマル	■
 ~ B E P B I P 1 .	ブザー長 ショート	
 ~ B E P W H N 1 .	データ送信前に鳴動	■
 ~ B E P W H N 2 .	データ送信後に鳴動	

コマンド バーコード	説明	デバイオル
 ~ B E P R P T .	「グッドリードブーザー」/LED 回数設定開始 左記のコマンド バーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード」表から設定したい回数を 1~9 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	1
数値バーコード 表		
		0 1
		2 3
		4 5
		6 7
		8 9
		確定 破棄

## 4.8.4 イラーブ ザーの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ B E P F Q 2 1 0 0 .	ザー-周波数 100Hz	■
 ~ B E P F Q 2 2 0 0 .	ザー-周波数 2,000Hz	
 ~ B E P F Q 2 4 2 0 0 .	ザー-周波数 4,200Hz	
 ~ B E P E R R .	イラーブ ザー-/LED 回数設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャナし、続けて「数値バーコード表」から設定したい回数を 1~9 の範囲でスキャナし、最後に「確定」バーコードをスキャナします。	
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

## 4.8.5 LED インディケータの設定

### 4.8.5.1 LED 入力の設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ L E D F N 1 0 .	赤色 LED オフ	
 ~ L E D F N 1 1 .	赤色 LED オン(ゲートリード)	
 ~ L E D F N 1 2 .	赤色 LED オン(レーザ照射)	■
 ~ L E D F N 1 4 .	赤色 LED オン(CodeGate 無効時)	
 ~ L E D F N 1 8 .	赤色 LED オン(ストップセット時)	
 ~ L E D F N 1 1 2 8 .	赤色 LED オン(CTS アクティブ)	
 ~ L E D F N 2 0 .	緑色 LED オフ	
 ~ L E D F N 2 1 .	緑色 LED オン(ゲートリード)	■
 ~ L E D F N 2 2 .	緑色 LED オン(レーザ照射)	
 ~ L E D F N 2 4 .	緑色 LED オン(CodeGate 無効時)	
 ~ L E D F N 2 8 .	緑色 LED オン(ストップセット時)	
 ~ L E D F N 2 1 2 8 .	緑色 LED オン(CTS アクティブ)	

#### 4.8.5.2 LED 輝度の設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ L E D I N 1 0 .	赤色 LED オフ	
 ~ L E D I N 1 1 .	赤色 LED 低輝度	
 ~ L E D I N 1 2 .	赤色 LED 中輝度	
 ~ L E D I N 1 3 .	赤色 LED 高輝度	■
 ~ L E D I N 2 0 .	緑色 LED オフ	
 ~ L E D I N 2 1 .	緑色 LED 低輝度	
 ~ L E D I N 2 2 .	緑色 LED 中輝度	
 ~ L E D I N 2 3 .	緑色 LED 高輝度	■

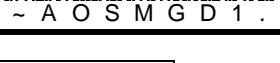
## 4.8 スキヤナガ<sup>®</sup>ション

### 4.8.1 プレセ<sup>®</sup>ソテーションモード の設定

デフォルトでは、スキヤナガは、スタンドにセットすると、自動的にバーコードを検知して読み取りを行います。スタンドから取り外すと、リガットを押して読み取るモードに移行します。下記のコマンドバーコードでスキヤナガの動作を変更することができます。

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ P A P P M M 1 .	<u>プレセ<sup>®</sup>ソテーションモード</u> <u>(Out-of-Stand)</u> スタンドから取り外した状態でも自動的にバーコードを検知して読み取りを行い、データをホストへ送信します。読み取り終了後、レーザーをオフにします。	
 ~ P A P P M M 2 .	<u>プレセ<sup>®</sup>ソテーションモード</u> <u>(CodeGate Out-of-Stand)</u> スタンドから取り外した状態でも自動的にバーコードを検知してデータを行いますが、リガットが押されるまでデータをホストへ送信しません。データ送信が行われるまで、レーザーは照射され続けます。	

## 4.8.2 マニュアルアクティベーションモードの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ A I S M E N 0 .	マニュアルアクティベーションモード オフ (In-Stand)	■
 ~ A I S M E N 1 .	マニュアルアクティベーションモード オン (In-Stand)	
 ~ A O S O E N 0 .	マニュアルアクティベーションモード オフ (Out-of-Stand)	
 ~ A O S M E N 0 .	マニュアルアクティベーションモード オン (Out-of-Stand)	■
 ~ A I S M G D 0 .	インスト マニュアルアクティベーションモード オフ (In-Stand)	
 ~ A I S M G D 1 .	インスト マニュアルアクティベーションモード オン (In-Stand)	■
 ~ A O S M G D 0 .	インスト マニュアルアクティベーションモード オフ (Out-of-Stand)	
 ~ A O S M G D 1 .	インスト マニュアルアクティベーションモード オン (Out-of-Stand)	■

### マニュアルアクティベーションモード

かに設定すると、トリガボタンを押している間、バーコードの読み取りを行います。データを読み取るか、トリガボタンを離すと、読み取りを終了します。マニュアルアクティベーションモードを設定した場合は、その時間が経過すると読み取りを終了します。

### インスト マニュアルアクティベーションモード

かに設定すると、バーコードの読み取りに成功すると、レーザーをかにします。オフに設定すると、レーザーはか状態を保ちますが、次の読み取りを行う場合は、トリガボタンを押す必要があります。

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ A I S M P T .	マニュアルアクリバーコード (トリガーポタッホールド&In-Stand) 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード」表から設定したい値を0-65,535の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、ミ秒です。	5000
 ~ A O S M P T .	マニュアルアクリバーコード (トリガーポタッホールド&Out-of-Stand) 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード」表から設定したい値を0-65,535の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、ミ秒です。	30000
 ~ A I S M R T .	マニュアルアクリバーコード (トリガーポタッリース&In-Stand) 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード」表から設定したい値を0-65,535の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、ミ秒です。	0
 ~ A O S M R T .	マニュアルアクリバーコード (トリガーポタッリース&Out-of-Stand) 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード」表から設定したい値を0-65,535の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、ミ秒です。	0
数値バーコード表		
		0
		1
		2
		3
		4
		5
確定		6
破棄		7

### 4.8.3 CodeGate® モードの設定

CodeGate モードをオフに設定した場合、スキャナはトリガボタンが押される迄、読み取りデータをホストへ送信しません。オフにした場合は、バーコードを読み取ると直ちにデータをホストへ送信します。

CodeGate モードは、横並びに近接したバーコードの中から目的のバーコードを確実に読み取りたい場合に有効なモードです。

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ A I S C G D 0 .	CodeGate モード オフ(In-Stand)	■
 ~ A O S C G D 1 .	CodeGate モード オフ(Out-of-Stand)	
 ~ A O S C G D 0 .	CodeGate モード オン(Out-of-Stand)	
 ~ A O S C G D 1 .	CodeGate モード オン(Out-of-Stand)	■

## 4.8.4 オブジエクト検出モードの設定

オブジエクト検出モードをわに設定すると、ズヤガは内蔵 LED でオブジエクトを自動的に検出し、バーコードの読み取りを行います。

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ A I S O E N 0 .	オブジエクト検出モード オフ(In-Stand)	
 ~ A I S O E N 1 .	オブジエクト検出モード オン(In-Stand)	■
 ~ A O S O E N 0 .	オブジエクト検出モード オフ (Out-of-Stand)	■
 ~ A O S O E N 1 .	オブジエクト検出モード オン (Out-of-Stand)	
 ~ A I S M G D 0 .	エンド オブジエクト検出モード オフ (In-Stand)	
 ~ A I S M G D 1 .	エンド オブジエクト検出モード オン (In-Stand)	■
 ~ A O S M G D 0 .	エンド オブジエクト検出モード オフ (Out-of-Stand)	
 ~ A O S M G D 1 .	エンド オブジエクト検出モード オン (Out-of-Stand)	■

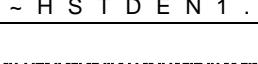
### エンド オブジエクト検出モード

わに設定すると、バーコードの読み取りに成功すると、レーザをわにします。わに設定すると、レーザはわ状態を保ちます。

コマンドバーコード	説明	デバイタル
 ~ A I S O D T .	オブジェクト検出レーザタイムアウト (In-Stand) 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を0~65,535の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、ミリ秒です。	5000
 ~ A O S O D T .	オブジェクト検出レーザタイムアウト (Out-of-Stand) 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を0~65,535の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、ミリ秒です。	5000
 ~ A I S R N G 2 .	オブジェクト検出距離 短い (In-Stand)	■
 ~ A I S R N G 1 .	オブジェクト検出距離 長い (In-Stand)	
 ~ A O S R N G 2 .	オブジェクト検出距離 短い (Out-of-Stand)	
 ~ A O S R N G 1 .	オブジェクト検出距離 長い (Out-of-Stand)	■
数値バーコード表		
		0 1
		2 3
		4 5
		6 7
		8 9
		確定 戻る

## 4.8.5 キャラクタアクリバーゾンモードの設定

キャラクタアクリバーゾンモードをオフに設定すると、スキャナはホストからの指定キャラクタ受信で、バーコードの読み取りを行います。キャラクタアクリバーゾンモードをオフにすれば、指定キャラクタ受信で、バーコードの読み取りを終了することができます。

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ H S T C E N 0 .	キャラクタアクリバーゾンモード オフ	■
 ~ H S T C E N 1 .	キャラクタアクリバーゾンモード オン	
 ~ H S T C G D 0 .	エンドキャラクタアクリバーゾンモード オフ	
 ~ H S T C G D 1 .	エンドキャラクタアクリバーゾンモード オン	■
 ~ H S T D E N 0 .	キャラクタデイアクライバーゾンモード オフ	■
 ~ H S T D E N 1 .	キャラクタデイアクライバーゾンモード オン	
 ~ H S T A C H .	アクリバーゾンキャラクタ 左記のコマンドバーコードをスキヤシし、続けて次頁の「英数字バーコード表」から設定したいキャラクタ値を16進数でスキヤシし、最後に「確定」バーコードをスキヤンします。	
 ~ H S T D C H .	デイアクライバーゾンキャラクタ 左記のコマンドバーコードをスキヤシし、続けて次頁の「英数字バーコード表」から設定したいキャラクタ値を16進数でスキヤシし、最後に「確定」バーコードをスキヤンします。	
 ~ H S T C D T .	キャラクタアクリバーゾンリーザタイムアウト 左記のコマンドバーコードをスキヤシし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を0-65,535の範囲でスキヤシし、最後に「確定」バーコードをスキヤンします。設定単位は、ミリ秒です。	5000

### エンドキャラクタアクリバーゾンモード

オフに設定すると、バーコードの読み取りに成功すると、リーザをオフにします。オフに設定すると、リーザはオフ状態を保ちます。

数値・英数字バーコード表	
	
	
	
	
	
	
	
	
	
確定	破棄

#### 4.8.5 同一コード読取ディレイの設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ D L Y R R D 5 0 0 .	同一コード読取ディレイ 500 ミ秒 同一コードを読み取る迄の間隔を 500 ミ秒に設定します。	
 ~ D L Y R R D 7 5 0 .	同一コード読取ディレイ 750 ミ秒 同一コードを読み取る迄の間隔を 750 ミ秒に設定します。	■
 ~ D L Y R R D 1 0 0 0 .	同一コード読取ディレイ 1,000 ミ秒 同一コードを読み取る迄の間隔を 1,000 ミ秒に設定します。	
 ~ D L Y R R D 2 0 0 0 .	同一コード読取ディレイ 2,000 ミ秒 同一コードを読み取る迄の間隔を 2,000 ミ秒に設定します。	
 ~ D L Y R R D .	同一コード読取ディレイ 左記のコマンド バーコードを押下し、続けて「数値バーコード」表から設定したい値を 0~30,000 の範囲で押下し、最後に「確定」バーコードを押下します。設定単位は、ミ秒です。	750
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

## 4.9 データ送信

### 4.9.7 データ送信シーケンスの設定

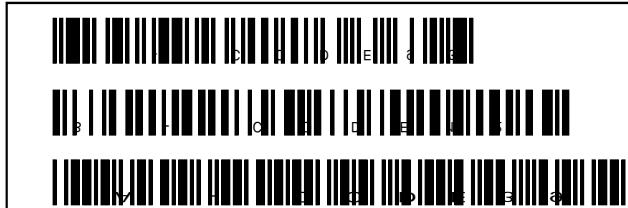
データ送信シーケンスを設定することにより、複数の読み取りデータを設定された規則に従って、常に同じフォーマット(順序)で outwardへ送信することが可能になります。

コマンドバーコード	説明	デバイフルト
 ~ S E Q B L K .	<p>データ送信シーケンス 下記に設定手順を示します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>左記のコマンドバーコードをスキヤウ</li> <li>対象となるシリアルのコードID (本書「A.5 コードID表」参照) を「英数字バーコード表」からスキヤウ</li> <li>条件を適用したいシリアルの桁数 を0000~9999の範囲で「数値 バーコード表」からスキヤウ (50桁=0050, 可変長=9999)</li> <li>条件を適用したいシリアルの先頭 キャラクタを「英数字バーコード表」から スキヤウ (A=41hex, 任意=99)</li> <li>シーケンスの区切りを意味するFF を「英数字バーコード表」からスキヤウ</li> <li>次のシーケンスを設定する場合は、 2~6を繰り返します。 シーケンス設定確定する場合は、 最後に「確定」をスキヤウします。</li> </ol>	
 ~ S E Q D F T .	データ送信シーケンス デバイフルト データ送信シーケンスの設定をデバイフルトに戻します。	
 ~ S E Q E N 2 .	データ送信シーケンス エクスクルージブ データ送信シーケンスを必ず適用して、データを送信します。設定規則に当てはまらないデータは破棄します。	
 ~ S E Q E N 1 .	データ送信シーケンス オン データ送信シーケンスを適用しますが、設定規則に当てはまらないデータを読み取った場合は、そのままデータを送信します。	
 ~ S E Q E N 0 .	データ送信シーケンス オフ 読み取りデータをそのまま送信します。	

例えば、下記に示す多段バーコード [コード 39][コード 128][コード 93]の順で必ず送信したい場合、次の手順でデータ送信ソーケスを設定します。

「データ送信ソーケス設定開始」 → 62 9999 41 FF → 6A 9999 42 FF → 69 9999 43 FF → 「確定」  
 ① ② ③

- ① コード ID = 62(コード 39), 術数 9999(可変長), 先頭キャラクタ 41(A), ソーケス区切り FF
- ② コード ID = 6A(コード 128), 術数 9999(可変長), 先頭キャラクタ 42(B), ソーケス区切り FF
- ③ コード ID = 69(コード 93), 術数 9999(可変長), 先頭キャラクタ 43(C), ソーケス区切り FF
- ④ 確定
- ⑤ データ送信ソーケス エクスクルージブ



数値・英数字バーコード表	
	0
	1
	2
	3
	4
	5
	6
	7
	8
	9
	A
	B
	C
	D
	E
	F
	確定
	破棄

コマンドバーコード	説明	デバイオルト
	データ送信シーケンスバーコード オフ	
	データ送信シーケンスバーコード オン データ送信シーケンスに合うデータを読み取るとビーピーを鳴動します。	■
	データ送信シーケンス 分割送信 オフ データ送信シーケンスタイムアウトが発生した場合、それまでに読み取ったデータを破棄します。	
	データ送信シーケンス 分割送信 オフ データ送信シーケンスタイムアウトが発生した場合、それまでに読み取ったデータを破棄します。	
	データ送信シーケンスタイムアウト 左記のコマンドバーコードをスキヤソし、続けて「数値バーコード」表から設定したい値を0~65,535の範囲でスキヤソし、最後に「確定」バーコードをスキヤソします。設定単位は、ミリ秒です。	5000
数値バーコード表		
		0 1
		2 3
		4 5
		6 7
		8 9
		確定 破棄

#### 4.9.2 ノーリード送信の設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ S H W N R D 1 .	ノーリード送信 オン ノーリード「NR」を送信します。	
 ~ S H W N R D 0 .	ノーリード送信 オフ ノーリード「NR」を送信しません。	■

#### 4.9.3 ファンクションコード送信の設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ R M V F N C 0 .	ファンクションコード 送信 オン	■
 ~ R M V F N C 1 .	ファンクションコード 送信 オフ	

#### 4.9.4 チェックキャラクタ送信の設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ H S T X R C 0 .	チェックキャラクタ 無し	■
 ~ H S T X R C 1 .	チェックキャラクタ LRC (第1キャラクタから計算)	
 ~ H S T X R C 2 .	チェックキャラクタ LRC (第2キャラクタから計算)	
 ~ H S T X R C 3 .	チェックキャラクタ CRC	

#### 4.9.5 キャラクタ間ディレイの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ D L Y C H R .	キャラクタ間ディレイ 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を0~99の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、5ミリ秒です。例えば、20ミリ秒に設定したい場合は、4をスキャンします。	0
数値バーコード表		
		0
		1
		2
		3
		4
		5
		6
		7
		8
		9

✓ USB バーチャル COM インターフェイスには適用されません。

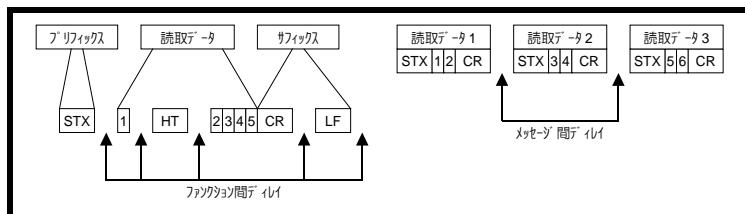
#### 4.9.6 指定キャラクタデバイスの設定

指定キャラクタの直後に挿入されるデバイスです。

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ D L Y C R X .	<b>指定キャラクタデバイス</b> 左記のコマンドバーコードをスキヤシし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を0~99の範囲でスキヤシし、最後に「確定」バーコードをスキヤシします。設定単位は、5ミリ秒です。例えば、20ミリ秒に設定したい場合は、4をスキヤシします。	0
 ~ D L Y X X .	<b>指定キャラクタ</b> 左記のコマンドバーコードをスキヤシし、続けて「英数字バーコード表」から設定したいキャラクタをスキヤシし、最後に「確定」バーコードをスキヤシします。例えば、A(41hex)を設定する場合は、41「確定」の順でスキヤシします。この指定キャラクタ送信後に、設定されたデバイスが実行されます。	
数値・英数字バーコード表		
		0
		2
		4
		6
		8
		A
		C
		E
		確定

#### 4.9.7 ファンクション間デ イレイ・メッセージ 間デ イレイの設定

下図に示すように、ファンクションキャラクタ(00~1Fhex)が送信された後に実行されるデ イレイがファンクション間デ イレイ、読み取デ タ間に実行されるデ イレイがメッセージ 間デ イレイです。



コマンドバーコード	説明	デフォルト	
 ~ D L Y F N C .	ファンクション間デ イレイ 左記のコマンドバーコードをスキヤシし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を 0~99 の範囲でスキヤシし、最後に「確定」バーコードをスキヤシします。設定単位は、5 ミリ秒です。例えば、20 ミリ秒に設定したい場合は、4 をスキヤシします。	0	
 ~ D L Y M S G .	メッセージ間デ イレイ 左記のコマンドバーコードをスキヤシし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を 0~99 の範囲でスキヤシし、最後に「確定」バーコードをスキヤシします。設定単位は、5 ミリ秒です。例えば、20 ミリ秒に設定したい場合は、4 をスキヤシします。	0	
数値バーコード表			
	0		1
	2		3
	4		5
	6		7
	8		9
	確定		初期化

## 4.9.8 プリフィックス/サフィックスの設定

下記に示すように、読み取りデータの前後にそれぞれ 1~11 文字までの任意のプリフィックス及びサフィックスを付加して送信することができます。

プリフィックス	読み取りデータ	サフィックス
無し又は 1~11 文字	可変長	無し又は 1~11 文字

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ P R E B K 2 .	<u>プリフィックス</u> 左記のコマンド バーコードをスキャン後、対象となるシンボルのコード ID(本書「A.5 コード ID 表」参照)を「英数字バーコード表」から対応し、続けて設定したい 11 文字までのプリフィックスをスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。 例えば、全シンボル(99)を対象にプリフィックスを 123 とする場合、各キャラクタを 16 進数に変換し、99313233 「確定」の順でスキャンします。	無し
 ~ P R E C A 2 .	<u>全プリフィックスクリア</u> 設定されている全プリフィックスをクリアします。	
 ~ S U F B K 2 .	<u>サフィックス</u> 左記のコマンド バーコードをスキャン後、対象となるシンボルのコード ID(本書「A.5 コード ID 表」参照)を「英数字バーコード表」から対応し、続けて設定したい 11 文字までのサフィックスをスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。 例えば、全シンボル(99)を対象にサフィックスを TAB(09hex)とする場合、9909 「確定」の順でスキャンします。	無し
 ~ S U F C A 2 .	<u>全サフィックスクリア</u> 設定されている全サフィックスをクリアします。	
 ~ V S U F C R .	<u>全サフィックス CR(キャリッジリターン)</u> 設定されている全サフィックスをクリアします。	

- コード ID 送信を指定する場合は、特殊コード 5C80 をスキャンします。
- AIM ID 送信を指定する場合は、特殊コード 5C81 をスキャンします。
- ¥マーク(バックスラッシュ)送信を指定する場合は、特殊コード 5C81 をスキャンします。

例) 全シンボル(99)のプリフィックスをコード ID に設定する場合、下記の順でスキャンします。

「プリフィックス」 995C80 「確定」

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ P R E C L 2 .	対象プリフィックスクリア 左記のコマンドバーコードをスキャン後、対象となるシリアルのコードID(本書「A.5 コード ID 表」参照)を「英数字バーコード表」からスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	
 ~ S U F C L 2 .	対象サフィックスクリア 左記のコマンドバーコードをスキャン後、対象となるシリアルのコードID(本書「A.5 コード ID 表」参照)を「英数字バーコード表」からスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	
英数字バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 A	 B	
 C	 D	
 E	 F	
 確定	 破棄	

## 拡張キーボードコードの送信

コマンド バーコード	説明	デフォルト
	拡張キーボードコード送信 オフ 下記の拡張キーボードコード対応表が適用されます。	■
	拡張キーボードコード送信 オフ	

例) 拡張キーボードコード

全シソボル(99)のサフィックスを Page Down(89hex)に設定する場合、下記の順でスキップします。

「サフィックス」 9989 「確定」

※ 拡張キーボードコード送信がオフの場合は、%。(89hex)が送信されます。

※ 一部のPCでは、キーボードコードが正しく入力できない場合があります。

拡張キーボードコード 対応表					
Dec	Hex	キーボードコード	Dec	Hex	キーボードコード
128	80	↑	152	98	F9
129	81	↓	153	99	F10
130	82	→	154	9A	F11
131	83	←	155	9B	F12
132	84	Insert	156	9C	+ (テンキー+パッド)
133	85	Delete	157	9D	- (テンキー+パッド)
134	86	Home	158	9E	* (テンキー+パッド)
135	87	End	159	9F	Caps Lock
136	88	Page Up	160	A0	Num Lock
137	89	Page Down	161	A1	左 Alt
138	8A	右 Alt	162	A2	左 Ctrl
139	8B	右 Ctrl	163	A3	左 Shift
140	8C	Reserved	164	A4	右 Shift
141	8D	Reserved	165	A5	Print Screen
142	8E	Enter (テンキー+パッド)	166	A6	Tab
143	8F	/ (テンキー+パッド)	167	A7	Shift Tab
144	90	F1	168	A8	Enter
145	91	F2	169	A9	Esc
146	92	F3	170	AA	Alt メイク
147	93	F4	171	AB	Alt ブレイク
148	94	F5	172	AC	Ctrl メイク
149	95	F6	173	AD	Ctrl ブレイク
150	96	F7	174	AE	Alt+1 キャラクタ
151	97	F8	175	AF	Ctrl+1 キャラクタ

#### 4.10 読取シンボル(バーコード)の設定

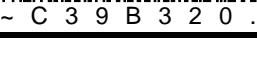
コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ A L L E N A 1 .	全リニアシンボル読み取り オン 全てのリニアシンボル(バーコード)の読み取りをオフにします。	
 ~ A L L E N A 0 .	全リニアシンボル読み取り オフ 全てのリニアシンボル(バーコード)の読み取りをオフにします。	

#### 4.10.1 コーダバ-(NW7)の設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ C B R D F T .	コーダバ- 全デフォルト コーダバ-に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ C B R E N A 1 .	コーダバ- 読み取り オン コーダバ-を読み取ります。	■
 ~ C B R E N A 0 .	コーダバ- 読み取り オフ コーダバ-を読み取れません。	
 ~ C B R S S X 1 .	スタート/ストップ 送信 オン スタート/ストップ キャラクタを送信します。	
 ~ C B R S S X 0 .	スタート/ストップ 送信 オフ コーダバ-のスタート/ストップ キャラクタを送信しません。	■
 ~ C B R C K 2 0 .	チェックデジット オフ チェックデジット(モジュロ 16)検査をしません。	■
 ~ C B R C K 2 1 .	チェックデジット オン/送信 オフ チェックデジット(モジュロ 16)検査をしますが、送信は行いません。	
 ~ C B R C K 2 2 .	チェックデジット オン/送信 オン チェックデジット(モジュロ 16)検査及び送信を行います。	
 ~ C B R C K 2 3 .	チェックデジット オン/送信 オン チェックデジット(モジュロ 7)検査及び送信は行いません。。	
 ~ C B R C K 2 4 .	チェックデジット オン/送信 オン チェックデジット(モジュロ 7)検査及び送信を行います。	
 ~ C B R C K 2 5 .	チェックデジット オン/送信 オン チェックデジット(CLSI)検査及び送信は行いません。。	
 ~ C B R C K 2 6 .	チェックデジット オン/送信 オン チェックデジット(CLSI)検査及び送信を行います。	
 ~ C B R C C T 2 .	連結機能 オン(必須) 連結を行いますが、連結の無い単独の「D」シップルは読み取れません。	
 ~ C B R C C T 1 .	連結機能 オン 連結を行います。連結の無い単独の「D」シップルも読み取れます。	

コマンドバーコード	説明	デバイス
	連結機能 オフ 連結を行いません。	■
	連結機能タイムアウト 左記のコマンドバーコードをスキヤシし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を0~65,535の範囲でスキヤシし、最後に「確定」バーコードをスキヤシします。設定単位は、ミリ秒です。	750
	読み取り回数 左記のコマンドバーコードをスキヤシ後、「数値バーコード表」から設定したい値を0~10の範囲でスキヤシし、最後に「確定」バーコードをスキヤシします。	0
	最小桁数 左記のコマンドバーコードをスキヤシ後、「数値バーコード表」から最小桁数を1~80の範囲でスキヤシし、最後に「確定」バーコードをスキヤシします。	3
	最大桁数 左記のコマンドバーコードをスキヤシ後、「数値バーコード表」から最大桁数を1~80の範囲でスキヤシし、最後に「確定」バーコードをスキヤシします。	80
<b>数値バーコード表</b>		
		0 1
		2 3
		4 5
		6 7
		8 9
		確定 破棄

## 4.10.2 コード 39 の設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ C 3 9 D F T .	コード 39 全デフォルト コードバーに関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ C 3 9 E N A 1 .	コード 39 読み取り オフ コード 39 を読み取ります。	■
 ~ C 3 9 E N A 0 .	コード 39 読み取り オフ コード 39 を読み取れません。	
 ~ C 3 9 S S X 1 .	スタート/ストップ 送信 オフ スタート/ストップ キャラクタを送信します。	
 ~ C 3 9 S S X 0 .	スタート/ストップ 送信 オフ コードバーのスタート/ストップ キャラクタを送信しません。	■
 ~ C 3 9 C K 2 0 .	チェックデイジット オフ チェックデイジット検査をしません。	
 ~ C 3 9 C K 2 1 .	チェックデイジット オン/送信 オフ チェックデイジット検査をしますが、送信は行いません。	
 ~ C 3 9 C K 2 2 .	チェックデイジット オン/送信 オフ チェックデイジット検査及び送信を行います。	
 ~ C 3 9 A S C 1 .	フルスキード読み取り オフ フルスキード読み取りをします。	
 ~ C 3 9 A S C 0 .	フルスキード読み取り オフ フルスキード読み取りをしません。	■
 ~ C 3 9 B 3 2 1 .	コード 32(PARAF)読み取り オフ コード 32(PARAF)を読み取ります。	
 ~ C 3 9 B 3 2 0 .	コード 32(PARAF)読み取り オフ コード 32(PARAF)を読み取れません。	

コマンドバーコード	説明	デバイス
 ~ C 3 9 V O T .	読み取り照合回数 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から設定したい値を0~10の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	0
 ~ C 3 9 M I N .	最小桁数 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最小桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	3
 ~ C 3 9 M A X .	最大桁数 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最大桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	80
数値バーコード表		
		0 1
		2 3
		4 5
		6 7
		8 9
		確定 破棄

### 4.10.3 インターリーブド 2/5 の設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ I 2 5 D F T .	インターリーブド 2/5 全幅 インターリーブド 2/5 に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ I 2 5 E N A 1 .	インターリーブド 2/5 読み取り オン インターリーブド 2/5 を読み取ります。	■
 ~ I 2 5 E N A 0 .	インターリーブド 2/5 読み取り オフ インターリーブド 2/5 を読み取りません。	
 ~ I 2 5 F O L 1 .	Follett フォーマット オン	
 ~ I 2 5 F O L 0 .	Follett フォーマット オフ	■
 ~ I 2 5 N U L 1 .	NULL キャラクタ オン	■
 ~ I 2 5 N U L 0 .	NULL キャラクタ オフ	
 ~ I 2 5 C K 2 0 .	チェックディジット オフ チェックディジット検査をしません。	■
 ~ I 2 5 C K 2 1 .	チェックディジット オン/送信 オフ チェックディジット検査をしますが、送信は行いません。	
 ~ I 2 5 C K 2 2 .	チェックディジット オン/送信 オン チェックディジット検査及び送信を行います。	

コマンドバーコード	説明	デバイス
 ~ 1 2 5 V O T .	読み取り回数 左記の「コマンドバーコード」をスキャン後、「数値バーコード表」から設定したい値を0~10の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	0
 ~ 1 2 5 M I N .	最小桁数 左記の「コマンドバーコード」をスキャン後、「数値バーコード表」から最小桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	6
 ~ 1 2 5 M A X .	最大桁数 左記の「コマンドバーコード」をスキャン後、「数値バーコード表」から最大桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	80
数値バーコード表		
		0
		2
		4
		6
		8
		確定 破棄

#### 4.10.4 NEC 2/5 の設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ N 2 5 D F T .	<u>NEC 2/5 全デフォルト</u> NEC 2/5 に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ N 2 5 E N A 1 .	<u>NEC 2/5 読み取り オン</u> NEC 2/5 を読み取ります。	■
 ~ N 2 5 E N A 0 .	<u>NEC 2/5 読み取り オフ</u> NEC 2/5 を読み取れません。	
 ~ N 2 5 C K 2 0 .	<u>チェックデジット オン</u> チェックデジット検査をしません。	■
 ~ N 2 5 C K 2 1 .	<u>チェックデジット オン/送信 オフ</u> チェックデジット検査をしますが、送信は行いません。	
 ~ N 2 5 C K 2 2 .	<u>チェックデジット オン/送信 オン</u> チェックデジット検査及び送信を行います。	

コマンドバーコード	説明	デバイス
 ~ N 2 5 V O T .	読み取り回数 左記の「コマンドバーコード」をスキャン後、「数値バーコード表」から設定したい値を0~10の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	0
 ~ N 2 5 M I N .	最小桁数 左記の「コマンドバーコード」をスキャン後、「数値バーコード表」から最小桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	3
 ~ N 2 5 M A X .	最大桁数 左記の「コマンドバーコード」をスキャン後、「数値バーコード表」から最大桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	80
数値バーコード表		
		0 1
		2 3
		4 5
		6 7
		8 9
		確定 破棄

#### 4.10.5 コード 93 の設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ C 9 3 D F T .	コード 93 全デフォルト コード 93 に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ C 9 3 E N A 1 .	コード 93 読み取り カ コード 93 を読み取ります。	■
 ~ C 9 3 E N A 0 .	コード 93 読み取り カ コード 93 を読み取れません。	
 ~ C 9 3 V O T .	読み取照合回数 左記のコマンド バーコード をスキャン後、「数値バーコード 表」から設定したい値を 0~10 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコード をスキャンします。	0
 ~ C 9 3 M I N .	最小桁数 左記のコマンド バーコード をスキャン後、「数値バーコード 表」から最小桁数を 1~80 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコード をスキャンします。	1
 ~ C 9 3 M A X .	最大桁数 左記のコマンド バーコード をスキャン後、「数値バーコード 表」から最大桁数を 1~80 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコード をスキャンします。	80
<b>数値バーコード 表</b>		
		0 1
		2 3
		4 5
		6 7
		8 9
		確定 破棄

#### 4.10.6 ストレート 2/5 の設定

コマンドバーコード	説明	デバイタル
 ~ R 2 5 D F T .	ストレート 2/5 全デバイタル ストレート 2/5 に関する設定を全てデバイタルに戻します。	
 ~ R 2 5 E N A 1 .	ストレート 2/5 読み取り オン ストレート 2/5 を読み取ります。	■
 ~ R 2 5 E N A 0 .	ストレート 2/5 読み取り オフ ストレート 2/5 を読み取れません。	
 ~ R 2 5 V O T .	読み取合回数 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から設定したい値を0~10の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	0
 ~ R 2 5 M I N .	最小桁数 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最小桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	3
 ~ R 2 5 M A X .	最大桁数 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最大桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	80
数値バーコード表		
		0 1
		2 3
		4 5
		6 7
		8 9
		確定 破棄

#### 4.10.7 マトリクス 2/5 の設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ X 2 5 D F T .	マトリクス 2/5 全デフォルト マトリクス 2/5 に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ X 2 5 E N A 1 .	マトリクス 2/5 読み取り オン マトリクス 2/5 を読み取ります。	
 ~ X 2 5 E N A 0 .	マトリクス 2/5 読み取り オフ マトリクス 2/5 を読み取りません。	■
 ~ X 2 5 C K 2 0 .	チェックデイジット オフ チェックデイジット検査をしません。	■
 ~ X 2 5 C K 2 1 .	チェックデイジット オン/送信 オフ チェックデイジット検査をしますが、送信は行いません。	
 ~ X 2 5 C K 2 2 .	チェックデイジット オン/送信 オン チェックデイジット検査及び送信を行います。	

コマンドバーコード	説明	デバイス
 ~ X 2 5 V O T .	読み取り照合回数 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から設定したい値を0~10の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	0
 ~ X 2 5 M I N .	最小桁数 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最小桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	3
 ~ X 2 5 M A X .	最大桁数 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最大桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	80
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

#### 4.10.8 コード 11 の設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ C 1 1 D F T .	コード 11 全デフォルト コード 11 に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ C 1 1 E N A 1 .	コード 11 読み取り カ コード 11 を読み取ります。	
 ~ C 1 1 E N A 0 .	コード 11 読み取り カ コード 25 を読み取れません。	■
 ~ C 1 1 C K 2 0 .	1 チェックデイジット 1 チェックデイジット検査をします。	
 ~ C 1 1 C K 2 1 .	2 チェックデイジット 2 チェックデイジット検査をします。	■
 ~ C 1 1 C K 2 2 .	自動選択 チェックデイジット 自動選択でチェックデイジット検査をします。	

コマンドバーコード	説明	デバイス
 ~ C 1 1 V O T .	読み取り照合回数 左記の「コマンドバーコード」をスキャン後、「数値バーコード表」から設定したい値を0~10の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	0
 ~ C 1 1 M I N .	最小桁数 左記の「コマンドバーコード」をスキャン後、「数値バーコード表」から最小桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	3
 ~ C 1 1 M A X .	最大桁数 左記の「コマンドバーコード」をスキャン後、「数値バーコード表」から最大桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	80
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

#### 4.10.9 コード 128 の設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ 1 2 8 D F T .	コード 128 全デフォルト コード 128 に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ 1 2 8 E N A 1 .	コード 128 読み取り オ GS1-128 を読み取ります。	■
 ~ 1 2 8 E N A 0 .	コード 128 読み取り オ コード 128 を読み取れません。	
 ~ 1 2 8 G S E 1 .	グーラーフセハレータ(GS)送信 オ GS(1Dhex)を送信します。	
 ~ 1 2 8 G S E 0 .	グーラーフセハレータ(GS)送信 オ GS(1Dhex)を送信しません。	■
 ~ I S B E N A 1 .	ISBT 連結機能 オ ISBT 連結をします。	
 ~ I S B E N A 0 .	ISBT 連結機能 オ ISBT 連結をしません。	■

コマンドバーコード	説明	デバイス
 ~ 1 2 8 V O T .	読み取り照合回数 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から設定したい値を0~10の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	0
 ~ 1 2 8 M I N .	最小桁数 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最小桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	1
 ~ 1 2 8 M A X .	最大桁数 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最大桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	80
数値バーコード表		
		0 1
		2 3
		4 5
		6 7
		8 9
		確定 破棄

#### 4.10.10 GS1-128 の設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ G S 1 D F T .	GS1-128 全デフォルト GS1-128 に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ G S 1 E N A 1 .	GS1-128 読み取り オフ GS1-128 を読み取ります。	■
 ~ G S 1 E N A 0 .	GS1-128 読み取り オフ GS1-128 を読み取れません。	
 ~ G S 1 E M U 0 .	AI 分割送信 オフ 読み取ったデータをそのまま送信します。	■
 ~ G S 1 E M U 1 .	AI 分割送信 オフ(AI を含まない) AI を自動検出し、AI を含まない各項目データを分割送信します。	
 ~ G S 1 E M U 2 .	AI 分割送信 オン(AI を含む) AI を自動検出し、AI を含む各項目データを分割送信します。	

#### 送信例

GS1-128 「(01)97847973029746(10)4000」というデータを読み取った場合

AI 分割送信 オフ(AI を含まない)の送信例

<フリフィックス>97847973029746<サフィックス><フリフィックス>4000<サフィックス>

AI 分割送信 オン(AI を含む)の送信例

<フリフィックス>0197847973029746<サフィックス><フリフィックス>104000<サフィックス>

コマンドバーコード	説明	デバイタル
 ~ G S I V O T .	読み取照合回数 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から設定したい値を0~10の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	0
 ~ G S I M I N .	最小桁数 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最小桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	3
 ~ G S I M A X .	最大桁数 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最大桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	80

数値バーコード表

#### 4.10.11 Telepen の設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ T E L D F T .	Telepen 全デフォルト Telepen に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ T E L E N A 1 .	Telepen 読み取り カ Telepen を読み取ります。	
 ~ T E L E N A 0 .	Telepen 読み取り カ Telepen を読み取ません。	■
 ~ T E L O L D 0 .	AIM フォーマット AIM フォーマットで出力します。	■
 ~ T E L O L D 1 .	GS1-128 フォーマット GS1-128 フォーマットで出力します。	

コマンドバーコード	説明	デバイタル
 ~ T E L V O T .	読み取照合回数 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から設定したい値を0~10の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	0
 ~ T E L M I N .	最小桁数 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最小桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	3
 ~ T E L M A X .	最大桁数 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最大桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	80

数値バーコード表

 0	 1
 2	 3
 4	 5
 6	 7
 8	 9
 確定	 破棄

#### 4.10.12 UPC-A の設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ U P A D F T .	UPC-A 全デフォルト UPC-A に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ U P A E N A 1 .	UPC-A 読み取り オン UPC-A を読み取ります。	■
 ~ U P A E N A 0 .	UPC-A 読み取り オフ UPC-A を読み取りません。	
 ~ U P A C K X 1 .	チェックデイジット送信 オン チェックデイジットを送信します。	■
 ~ U P A C K X 0 .	チェックデイジット送信 オフ チェックデイジットを送信しません。	
 ~ U P A N S X 1 .	システムナバ-送信 オン システムナバ-を送信します。	■
 ~ U P A N S X 0 .	システムナバ-送信 オフ システムナバ-を送信しません。	
 ~ U P A A D 2 1 .	アドオン2読み取り オン アドオン2を読み取ります。	
 ~ U P A A D 2 0 .	アドオン2読み取り オフ アドオン2を読み取りません。	■
 ~ U P A A D 5 1 .	アドオン5読み取り オン アドオン5を読み取ります。	
 ~ U P A A D 5 0 .	アドオン5読み取り オフ アドオン5を読み取りません。	■
 ~ U P A A R Q 1 .	アドオン必須読み取り オン アドオン付 UPC-A だけを読み取ります。	
 ~ U P A A R Q 0 .	アドオン必須読み取り オフ アドオン無しとアドオン付の UPC-A を読み取ります。	■

コマンドバーコード	説明	デバイス
	アドオンセーラータ オン アドオンデータの前にセーラータとして、 スペースを挿入します。	
	アドオンセーラータ オフ スペースを挿入しません。	■
	クーポンコード読み取り オン (必須) クーポンコード付 UPC-A/EAN-13 を読み取ります。クーポンコードと拡張クーポンコードを1スキヤンで読み取る必要があります。	
	クーポンコード読み取り オフ クーポンコード付 UPC-A/EAN-13 を読み取ります。	
	クーポンコード読み取り オフ クーポンコード付 UPC-A/EAN-13 を読み取ります。	■
	アドオンタイムアウト 左記のコマンドバーコードをスキヤンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を0~65,535の範囲でスキヤンし、最後に「確定」バーコードをスキヤンします。設定単位は、ミリ秒です。	100
	読み取照合回数 左記のコマンドバーコードをスキヤン後、「数値バーコード表」から設定したい値を0~10の範囲でスキヤンし、最後に「確定」バーコードをスキヤンします。	0
<b>数値バーコード表</b>		
		0
		1
		2
		3
		4
		5
確定		6
破棄		7

#### 4.10.13 UPC-E の設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ U P E D F T .	UPC-E 全デフォルト UPC-E に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ U P E E N 0 1 .	UPC-E0 読み取り オ 「0」で始まる UPC-E を読み取ります。	■
 ~ U P E E N 0 0 .	UPC-E0 読み取り オ 「0」で始まる UPC-E を読み取りません。	
 ~ U P E E X P 1 .	UPC-A 変換 オ UPC-A コードに変換します。	
 ~ U P E E X P 0 .	UPC-A 変換 オ UPC-A コードに変換しません。	■
 ~ U P E C K X 1 .	チェックデイジット送信 オ チェックデイジットを送信します。	■
 ~ U P E C K X 0 .	チェックデイジット送信 オ チェックデイジットを送信しません。	
 ~ U P E E X N 1 .	システムナバ-送信 オ システムナバ-を送信します。	■
 ~ U P E E X N 0 .	システムナバ-送信 オ システムナバ-を送信しません。	
 ~ U P E N S X 1 .	先頭ゼロ送信 オ 先頭のゼロを送信します。	
 ~ U P E N S X 0 .	システムナバ-送信 オ システムナバ-を送信しません。	
 ~ U P E A D 2 1 .	アドオン2 読み取り オ アドオン2 を読み取ります。	
 ~ U P E A D 2 0 .	アドオン2 読み取り オ アドオン2 を読み取りません。	■

コマンドバーコード	説明	デバイスオプト
	アドオン5読み取り オフ アドオン5を読み取ります。	
	アドオン5読み取り オフ アドオン5を読み取れません。	■
	アドオン必須読み取り オフ アドオン付 UPC-Eだけを読み取ります。	
	アドオン必須読み取り オフ アドオン無しアドオン付の UPC-Eを読み取ります。	■
	アドオンセバーレターオン アドオンデータの前にセバーレタとして、入力-スを挿入します。	
	アドオンセバーレターオフ 入力-スを挿入しません。	■
	アドオンタイムアウト 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を0~65,535の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、ミリ秒です。	100
	読み取り回数 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から設定したい値を0~10の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	0
<b>数値バーコード表</b>		
		0
		1
		2
		3
		4
		5

#### 4.10.14 EAN/JAN-13 の設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ E 1 3 D F T .	EAN/JAN-13 全デフォルト EAN/JAN-13に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ E 1 3 E N A 1 .	EAN/JAN-13 読み取り オン EAN/JAN-13 を読み取ります。	■
 ~ E 1 3 E N A 0 .	EAN/JAN-13 読み取り オフ EAN/JAN-13 を読み取れません。	
 ~ E 1 3 C K X 1 .	チェックデイジット送信 オン チェックデイジットを送信します。	■
 ~ E 1 3 C K X 0 .	チェックデイジット送信 オフ チェックデイジットを送信しません。	
 ~ E 1 3 A D 2 1 .	アドオン2読み取り オン アドオン2を読み取ります。	
 ~ E 1 3 A D 2 0 .	アドオン2読み取り オフ アドオン2を読み取れません。	■
 ~ E 1 3 A D 5 1 .	アドオン5読み取り オン アドオン5を読み取ります。	
 ~ E 1 3 A D 5 0 .	アドオン5読み取り オフ アドオン5を読み取れません。	■
 ~ E 1 3 A R Q 1 .	アドオン必須読み取り オン アドオン付 EAN/JAN-13 だけを読み取ります。	
 ~ E 1 3 A R Q 0 .	アドオン必須読み取り オフ アドオン無しとアドオン付の EAN/JAN-13 を読み取ります。	■
 ~ E 1 3 A D S 1 .	アドオンセパレータ オン アドオンデータの前にセパレータとして、入hapusを挿入します。	
 ~ E 1 3 A D S 0 .	アドオンセパレータ オフ 入hapusを挿入しません。	■

コマンド バーコード	説明	デバイス
	<u>ISBN 変換 オン</u> ISBN 変換をします。	
	<u>ISBN 変換 オフ</u> ISBN 変換をしません。	■
	<u>アド オンタイム アウト</u> 左記のコマンド バーコードをスキャニし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を 0~65,535 の範囲でスキャニし、最後に「確定」バーコードをスキャニします。設定単位は、ミリ秒です。	100
	<u>読み取り回数</u> 左記のコマンド バーコードをスキャニ後、「数値バーコード表」から設定したい値を 0~10 の範囲でスキャニし、最後に「確定」バーコードをスキャニします。	0
<b>数値バーコード 表</b>		
		0
		2
		4
		6
		8
		確定 破棄

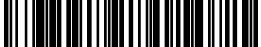
#### 4.10.15 EAN/JAN-8 の設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ E A 8 D F T .	EAN/JAN-8 全デフォルト EAN/JAN-8 に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ E A 8 E N A 1 .	EAN/JAN-8 読み取り オン EAN/JAN-8 を読み取ります。	■
 ~ E A 8 E N A 0 .	EAN/JAN-8 読み取り オフ EAN/JAN-8 を読み取れません。	
 ~ E A 8 C K X 1 .	チェックデイジット送信 オン チェックデイジットを送信します。	■
 ~ E A 8 C K X 0 .	チェックデイジット送信 オフ チェックデイジットを送信しません。	
 ~ E A 8 A D 2 1 .	アドオン2読み取り オン アドオン2を読み取ります。	
 ~ E A 8 A D 2 0 .	アドオン2読み取り オフ アドオン2を読み取れません。	■
 ~ E A 8 A D 5 1 .	アドオン5読み取り オン アドオン5を読み取ります。	
 ~ E A 8 A D 5 0 .	アドオン5読み取り オフ アドオン5を読み取れません。	■
 ~ E A 8 A R Q 1 .	アドオン必須読み取り オン アドオン付 EAN/JAN-8 だけを読み取ります。	
 ~ E A 8 A R Q 0 .	アドオン必須読み取り オフ アドオン無しとアドオン付の EAN/JAN-8 を読み取ります。	■
 ~ E A 8 A D S 1 .	アドオンセパレータ オン アドオンデータの前にセパレータとして、入力文字を挿入します。	
 ~ E A 8 A D S 0 .	アドオンセパレータ オフ 入力文字を挿入しません。	■

コマンドバーコード	説明	デバイス
 ~ D L Y A D D .	アンドオーナタリムアット 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を0~65,535の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、ミリ秒です。	100
 ~ E A 8 V O T .	読み取り回数 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から設定したい値を0~10の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	0
数値バーコード表		
		0
		2
		4
		6
		8
		確定
		石皮集

#### 4.10.16 MSI の設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ M S I D F T .	MSI 全て ディフォルト MSI に関する設定を全て ディフォルト に戻します。	
 ~ M S I E N A 1 .	MSI 読み取り オン MSI を読み取ります。	
 ~ M S I E N A 0 .	MSI 読み取り オフ MSI を読み取りません。 ■	■
 ~ M S I C H K 0 .	チェックデジット オン/送信 オン チェックデジット(タイプ 10)検査をしますが、送信は行いません。 ■	■
 ~ M S I C H K 1 .	チェックデジット オン/送信 オン チェックデジット(タイプ 10)検査及び送信を行います。	
 ~ M S I C H K 2 .	チェックデジット 2 オン/送信 オン チェックデジット(タイプ 10)x2 検査をしますが、送信は行いません。	
 ~ M S I C H K 3 .	チェックデジット 2 オン/送信 オン チェックデジット(タイプ 10)x2 検査及び送信を行います。	
 ~ M S I C H K 4 .	チェックデジット 2-10/11 オン/送信 オン チェックデジット(タイプ 10) & (タイプ 11) 検査をしますが、送信は行いません。	
 ~ M S I C H K 5 .	チェックデジット 2-10/11 オン/送信 オン チェックデジット(タイプ 10) & (タイプ 11) 検査及び送信を行います。	
 ~ M S I C H K 6 .	チェックデジット 無し チェックデジット検査を行いません。	

コマンドバーコード	説明	デバイスオート
 ~ M S I V O T .	読み取り照合回数 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から設定したい値を0~10の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	0
 ~ M S I M I N .	最小桁数 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最小桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	3
 ~ M S I M A X .	最大桁数 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最大桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	48
数値バーコード表		
		0 1
		2 3
		4 5
		6 7
		8 9
		確定 破棄

#### 4.10.17 Plessey の設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ P L S D F T .	Plessey 全デフォルト Plessey に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ P L S E N A 1 .	Plessey 読み取り オン Plessey を読み取ります。	
 ~ P L S E N A 0 .	Plessey 読み取り オフ Plessey を読み取れません。	■
 ~ P L S C H K 1 .	チェックデジット オン/送信 オン チェックデジット検査をしますが、送信は行いません。	
 ~ P L S C H K 2 .	チェックデジット オン/送信 オン チェックデジット検査及び送信を行います。	
 ~ P L S C H K 0 .	チェックデジット オフ チェックデジット検査を行いません	■

コマンド バーコード	説明	デバイス
 ~ P L S V O T .	読み取り照合回数 左記のコマンド バーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から設定したい値を0~10の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	0
 ~ P L S M I N .	最小桁数 設定開始 左記のコマンド バーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最小桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	3
 ~ P L S M A X .	最大桁数 設定開始 左記のコマンド バーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最大桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	48
数値バーコード表		
		0
		2
		4
		6
		8
		確定 破棄

#### 4.10.18 GS1 Databar Omnidirectional の設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ R S S D F T .	<u>GS1 Databar Omnidirectional</u> <u>全デフォルト</u> GS1 Databar Omnidirectional に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ R S S E N A 1 .	<u>GS1 Databar Omnidirectional</u> <u>読み取り カ</u> GS1 Databar Omnidirectional を読み取ります。	■
 ~ R S S E N A 0 .	<u>GS1 Databar Omnidirectional</u> <u>読み取り カ</u> GS1 Databar Omnidirectional を読み取りません。	
 ~ R S S V O T .	読み取り回数 左記のコマンド バーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から設定したい値を 0~10 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	0

数値バーコード表

	
	
	
	
	
確定	破棄

#### 4.10.19 GS1 Databar Limited の設定

コマンドバーコード	説明	デイフィオルト
	<u>GS1 Databar Limited</u> 全デイフィオルト GS1 Databar Limited に関する設定を全てデイフィオルトに戻します。	
	<u>GS1 Databar Limited</u> 読み取り オフ GS1 Databar Limited を読み取ります。	■
	<u>GS1 Databar Limited</u> 読み取り オフ GS1 Databar Limited を読み取りません。	
	読み取合回数 左記の「コマンドバーコード」をスキャン後、「数値バーコード表」から設定したい値を0~10の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	0
数値バーコード表		
		0
		2
		4
		6
		8
		確定 破棄

#### 4.10.20 GS1 Databar Expanded の設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ R S E D F T .	GS1 Databar Expanded <u>全デフォルト</u> GS1 Databar Expanded に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ R S E E N A 1 .	GS1 Databar Expanded <u>読み取り カン</u> GS1 Databar Expanded を読み取ります。	■
 ~ R S E E N A 0 .	GS1 Databar Expanded <u>読み取り カン</u> GS1 Databar Expanded を読み取りません。	
 ~ R S E V O T .	読み取照合回数 左記のコマンド バーコード をスキャン後、「数値バーコード 表」から設定したい値を 0~10 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコード をスキャンします。	0
 ~ R S E E M I N .	最小桁数 設定開始 左記のコマンド バーコード をスキャン後、「数値バーコード 表」から最小桁数を 1~80 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコード をスキャンします。	3
 ~ R S E E M A X .	最大桁数 設定開始 左記のコマンド バーコード をスキャン後、「数値バーコード 表」から最大桁数を 1~80 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコード をスキャンします。	80
<b>数値バーコード 表</b>		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
<b>確定</b>		
<b>破棄</b>		

#### 4.10.21 GS1 エミュレーションの設定

コマンド バーコード	説明	デバイス
 ~ E A N E M U 0 .	GS1 エミュレーション 無し GS1 エミュレーションを行いません。	■
 ~ E A N E M U 1 .	GS1-128 エミュレーション有り 全リテールコード (UPC/EAN/JAN)は、16 桁に拡張され、AIM ID が有効であれば、読み取りデータの先頭に AIM ID の ]C1 を付加します。	
 ~ E A N E M U 2 .	GS1 Databar エミュレーション 有り 全リテールコード (UPC/EAN/JAN)は、16 桁に拡張され、AIM ID が有効であれば、読み取りデータの先頭に AIM ID の ]e0 を付加します。	
 ~ E A N E M U 3 .	GS1 コード 拡張 無し 全リテールコード (UPC/EAN/JAN)の拡張を無効にします。AIM ID が有効であれば、GS1-128 読み取りデータの先頭に AIM ID の ]C1 を付加します。	
 ~ E A N E M U 4 .	EAN8→EAN13 変換 有り 全 EAN8 フィールドを EAN13 に変換します。	

#### 4.10.22 Trioptic コードの設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ T R I E N A 1	<u>Trioptic コード 読み取り オン</u> Trioptic コード を読み取ります。	
 ~ T R I E N A 0	<u>Trioptic コード 読み取り オフ</u> Trioptic コード を読み取りません。	■

- Trioptic コードは、磁気記録媒体のラベル表示に使用されています。
- コード 32(PARAF)を読み取る場合は、必ず Trioptic コードの読み取りをオフにしてください。(本書「4.10.2 コード 39 の設定」参照)

#### 4.10.23 中国郵便コードの設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ C P C D F T .	中国郵便コード 全デフォルト 中国郵便コードに関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ C P C E N A 1 .	中国郵便コード 読み取り カ 中国郵便コードを読み取ります。	
 ~ C P C E N A 0 .	中国郵便コード 読み取り カ 中国郵便コードを読み取れません。	■
 ~ C P C V O T .	読み取合回数 左記のコマンド バーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から設定したい値を0~10の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	0
 ~ C P C M I N .	最小桁数 左記のコマンド バーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最小桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	3
 ~ C P C M A X .	最大桁数 左記のコマンド バーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最大桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	80
数値バーコード表		
		0 1
		2 3
		4 5
		6 7
		8 9
		確定 破棄

Blank page

## 5. シリアルコマンド

シリアルコマンド を使うことで、パラメータの設定や取得、シリアルリード制御などを行うことが可能になります。

### 5.1 メニューコマンド

メニュー命令は、パラメータ設定や取得を行うためのコマンド群です。下記にメニュー命令フォーマットを示します。

**アリフィックス [スキャナ名] タグ サブタグ データ サブタグ データ タグ サブタグ データ ..... [モード]**

\* [モード] は、省略可能なオプションファイルです。

**[アリフィックス] フィールド**

<SYN>M<CR> 固定です。(<SYN>=16hex, M=4Dhex, <CR>=0Dhex)

**[スキャナ名] フィールド**

特定のスキャナにメニュー命令を送信したい場合に、:Voyager: などスキャナ名をコロン : で囲んで指定します。スキャナ名が分からぬ場合は、ワイルドカード \* を指定することもできます。

**[タグ] フィールド**

メニュー命令の先頭を識別する 3 キャラクタです。例えば、RS232C 関連のメニュー命令のタグ は、232 です。

**[サブタグ] フィールド**

タグ ループ 内のパラメータ項目を識別する 3 キャラクタです。例えば、RS232C のポートは、BAD です。

**[データ] フィールド**

パラメータの設定を行う場合は、新しい設定値を指定します。設定できる値はメニュー命令により異なります。

パラメータの設定値や設定範囲を取得しようとする場合は、下記に示す何れかのキャラクタを指定します。

^(5Ehex) テイフルト設定を取得

?(3Fhex) 現在の設定を取得

\*(2Ahex) 設定範囲を取得

(\* 繰り返し値は - で区切られ、不繰り返し値は | で区切られます)

**[モードフィールド]**

設定値の保存先又は取得先を指定します。揮発性 RAM メモリ領域を保存先/取得先にする場合は、「!」(21hex)を指定し、不揮発性メモリを保存先/取得先にする場合は、「.」(2Ehex)を指定します。不揮発性メモリを保存先にした場合、電源を落としても設定値は消えません。

タグ フィールド、サブタグ フィールド、データ フィールド の値は、本書「4.パラメータ設定」に掲載しているコマンド パーコード のヒューマンリダブルキャラクタを参照してください。

タグ フィールド BEP	アリフィールド	説明	データ種別
		アリフィールド 説明: 1-19 左記のアリフィールドを読み取った後で「数値バーコード」表から選択したい回数を 1-9 の範囲で入力し、最後に「確定バーコード」表を選択します。	1

サブタグ フィールド RPT | データ フィールド 1-9

## 複数メニュー・コマンドの連結

1つのメニュー・コマンド フォーマット内で複数のメニュー・コマンドを指定する場合は、下記に示す何れかのセパレータで区切れます。

セパレータ	説明
,(2Chex)	同じタグ グループ のメニュー・コマンドを続けて指定する場合は、カマで区切り、サブタグ・フィールドとデータ・フィールドを指定します。
;(3Bhex)	異なるタグ グループ のメニュー・コマンドを続けて指定する場合は、セミコロンで区切り、タグ・フィールド～データ・フィールドを指定します。

## レスポンスキャラクタ

メニュー・コマンドを受信すると、下記に示す何れかのレスポンスキャラクタを返します。

レスポンス	説明
ACK(06hex)	正しくコマンドを実行したことを意味します。
ENQ(05hex)	タグ・フィールド又はサブタグ・フィールドの指定値が無効です。
NAK(15hex)	データ・フィールドの指定値が範囲外です。

## パラメータ設定値の取得例

例 1) コード パー-(NW7)読み取りの初期値を取得

```
メニュー・コマンド : cbrena^
レスポンス : CBRENA1<ACK>
* <ACK> = 06hex
```

初期値が 1 であることが分かります。

例 2) コード パー-(NW7)に関する全設定値を取得

```
メニュー・コマンド : cbr?
レスポンス : CBRENA1<ACK>,
SSX0<ACK>,
CK20<ACK>,
CCT1<ACK>,
MIN2<ACK>,
MAX60<ACK>,
DFT<ACK>.
* <ACK> = 06hex
```

## 5.2 シリアルトリガ コマンド

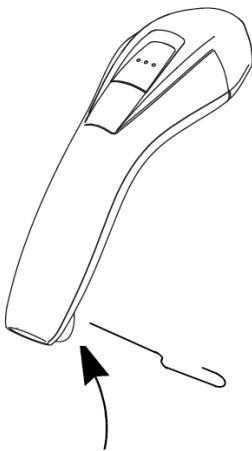
下記のシリアルトリガ コマンドを発行することで、スキャナの読み取り開始・終了をコントロールすることができます。

<SYN> T <CR>	読み取りを開始します。
<SYN> U <CR>	読み取りを終了します。
* <SYN> = 16hex, <CR> = 0Dhex	

Blank page

## A.1 インタフェイスケーブルの交換

スキャナに付属のインターフェイスケーブルは簡単に取り外しが行えます。下記の図を参照して、インターフェイスケーブルの交換を行ってください。



クリップなど先の細いピンをスキャナ裏面の穴に差し込んでケーブルを取り外します

## A.2 メンテナンス

読取りウッドウルは、定期的に、やわらかいリソフリーケースで拭いてください。研磨剤入りのリケーなどは絶対に使用しないでください。

読取りウッドウルの汚れ、傷は、読取パフォーマンス低下の大きな原因となります。



## A.3 EZConfig 設定ユーティリティソフト

EZConfig は、シリアルインターフェイス及び USB バーチャル COM インターフェイスを通して、オンラインでスキヤの設定が行えるユーティリティソフトです。メニュー バーコードを印刷することもできるため、オフラインでのスキヤ設定も行えます。

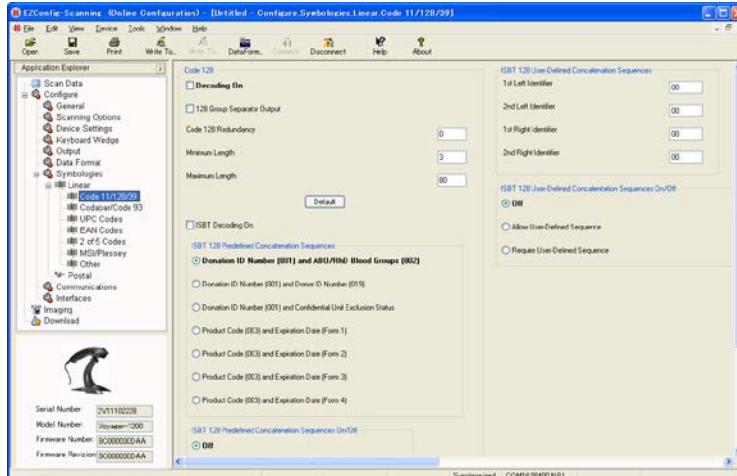
弊社 WEB ページより最新版をダウンロードしてご利用ください。

[http://www.aware-distribution.com/support/dl\\_program.htm](http://www.aware-distribution.com/support/dl_program.htm)

### EzConfig パラメータ設定支援ユーティリティソフトウェア

Xenon 1900/1902/3800g/3820/4206/4600/4800/4820シリーズ他対応 対応

[ezconfig.zip](#)



## A.4 データ編集機能

ユーザは読み取データを自由に加工して、送信することができる強力なデータ編集機能を搭載しています。ここでは、データ編集機能で使用可能なコマンドを簡単な例を交えながら説明します。尚、データ編集機能の設定には、先に紹介した EZConfig 設定1-ライセンスを利用します。お使いの PC に EZConfig をインストールしてから、次に進んで下さい。

### A.4.1 データ編集コマンド

下記に、データ編集機能で利用可能なコマンドとその機能を示します。

#### データ送信コマンド

- F1** 現在のかursor位置以降のデータの後に指定キャラクタを付加して送信します。処理後cursorはデータの終端に移動します。

{F1}@

cursor位置以降のデータの後に@(40hex)を付加して送信します。

{F1}[ETX]

cursor位置以降のデータの後に ETX(03hex)を付加して送信します。

- F2** 現在のかursor位置から指定桁数(00~99)のデータの後に指定キャラクタを付加して送信します。cursorは指定桁数分移動します。

{F2}05@

cursor位置から 5 桁のデータの後に@(40hex)を付加して送信します。

{F2}99[ETX]

cursor位置から 99 桁のデータの後に ETX(03hex)を付加して送信します。

- F3** 現在のかursor位置から検索対象キャラクタを検索し、見つければその直前までのデータ(検索対象キャラクタは含まれない)の後に指定キャラクタを付加して送信します。cursorは検索対象キャラクタの直前に移動します。

{F3}A@

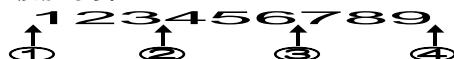
cursor位置から検索対象キャラクタ A(41hex)を検索し、見つければその直前までのデータの後に@(40hex)を付加して送信します。

{F3}[ HT ][ETX]

cursor位置から検索対象キャラクタ TAB(09hex)を検索し、見つければその直前までのデータの後に ETX(03hex)を付加して送信します。

#### カーソルって？

読み取データの何桁目を指しているかを示すマークです。cursorは、最初読み取データ 1 桁目(先頭)を指し、以降実行されたコマンドにより、位置を移動させます。例えば、123456789という9桁の読み取データに対して、{F2}03@→{F6}03→{F1}[SOH] の順でコマンドを実行した場合、cursorは次のように移動します。



- F4** 指定キャラクタ 1 文字を指定回数(00~99)送信します。このコマンドは、カーソル位置には影響を与えません。

{F4}@05  
指定キャラクタ@を 5 回送信します。

{F4}[ HT]99  
指定キャラクタ TAB(09hex)を 99 回送信します。

- E9** 現在のカーソル位置以降の全データから指定桁数(00~99)を終端から削除して送信します。カーソルは送信した最終キャラクタの直後に移動します。

{E9}05  
カーソル位置以降の全データから 5 桁を終端から削除して送信します。

{E9}99  
カーソル位置以降の全データから 99 桁を終端から削除して送信します。

- B3** シボル名を送信します。このコマンドは、カーソル位置には影響を与えません。

{B3}  
シボル名を送信します。

- B4** データ桁数を送信します(先頭に 0 は付加しません)。このコマンドは、カーソル位置には影響を与えません。

{B4}  
データ桁数を送信します。

#### カーソル移動重力コマンド

- F5** カーソルを右方向(終端方向)へ指定桁数(00~99)移動します。

{F5}05  
カーソルを右方向(終端方向)へ 5 桁移動します。

{F5}99  
カーソルを右方向(終端方向)へ 99 桁移動します。

- F6** カーソルを左方向(先頭方向)へ指定桁数(00~99)移動します。

{F6}05  
カーソルを左方向(先頭方向)へ 5 桁移動します。

{F6}99  
カーソルを左方向(先頭方向)へ 99 桁移動します。

#### カーソルって?

読み取りデータの何桁目を指しているかを示す symbol です。カーソルは、最初読み取りデータ 1 桁目(先頭)を指し、以降実行されたコマンドにより、位置を移動させます。例えば、123456789 という 9 桁の読み取りデータに対して、{F2}03@→{F6}03→{F1}[SOH] の順でコマンドを実行した場合、カーソルは次のように移動します。



**F7** カーソルを先頭へ移動します。

{F7}  
カーソルを先頭へ移動します。

**E A** カーソルを終端へ移動します。

{E A}  
カーソルを終端へ移動します。

#### 検索コマンド

**F8** 指定キャラクタを現在のカーソル位置から右方向(終端方向)に検索します。見つければ、カーソルは検索対象キャラクタの直前に移動します。見つからなかった場合は、データ編集フォーマットを適用しません。

{F8}A  
A(41hex)を現在のカーソル位置から右方向(終端方向)に検索します。

{F8}[ENQ]  
ENQ(05hex)を現在のカーソル位置から右方向(終端方向)に検索します。

**F9** 指定キャラクタを現在のカーソル位置から左方向(先頭方向)に検索します。見つければ、カーソルは検索対象キャラクタの直前に移動します。見つからなかった場合は、データ編集フォーマットを適用しません。

{F9}A  
A(41hex)を現在のカーソル位置から左方向(先頭方向)に検索します。

{F9}[ENQ]  
ENQ(05hex)を現在のカーソル位置から左方向(先頭方向)に検索します。

**B0** 指定文字列を現在のカーソル位置から右方向(終端方向)に検索します。見つければ、カーソルは検索対象文字列の直前に移動します。見つからなかった場合は、データ編集フォーマットを適用しません。

書式は、B0nnnnS で、nnnn には桁数 0001~9999、S には検索対象の文字が入ります。

{B0}0004Test  
4 桁の文字列 Test をカーソル位置から右方向(終端方向)に検索します。

#### カーソルって？

読み取りデータの何桁目を指しているかを示すボイドです。カーソルは、最初読み取りデータ 1 桁目(先頭)を指し、以降実行されたコマンドにより、位置を移動させます。例えば、123456789 という 9 桁の読み取りデータに対して、{F2}03@→{F6}03→{F1}[SOH] の順でコマンドを実行した場合、カーソルは次のように移動します。



- B1** 指定文字列を現在のかーる位置から左方向(先頭方向)に検索します。見つければ、かーるは検索対象文字列の直前に移動します。見つからなかった場合は、データ編集フォーマットを適用しません。

書式は、B1nnnnS で、nnnn には桁数 0001~9999、S には検索対象の文字が入ります。

{B1}0004Test

4 衔の文字列 Test をかーる位置から右方向(先頭方向)に検索します。

- B2** 指定文字列を現在のかーる位置から右方向(終端方向)に検索します。見つければ、かーるは検索対象文字列の直後に移動します。見つからなかった場合は、データ編集フォーマットを適用しません。

書式は、B0nnnnS で、nnnn には桁数 0001~9999、S には検索対象の文字が入ります。

{B0}0004Test

4 衔の文字列 Test をかーる位置から右方向(終端方向)に検索します。

- E6** 指定キャラクタと合致しないキャラクタを現在のかーる位置から右方向(終端方向)に検索します。見つければ、かーるは検索対象キャラクタの直前に移動します。見つからなかった場合は、データ編集フォーマットを適用しません。

{E6}[ACK]

ACK(06hex)と合致しないキャラクタを現在のかーる位置から右方向(終端方向)に検索します。

- E7** 指定キャラクタと合致しないキャラクタを現在のかーる位置から左方向(先頭方向)に検索します。見つければ、かーるは検索対象キャラクタの直前に移動します。見つからなかった場合は、データ編集フォーマットを適用しません。

{E7}[ENQ]

ENQ(05hex)と合致しないキャラクタを現在のかーる位置から左方向(先頭方向)に検索します。

#### カーソルって？

読み取りデータの何桁目を指しているかを示すボイドです。かーるは、最初読み取りデータ 1 衔目(先頭)を指し、以降実行されたコマンドにより、位置を移動させます。例えば、123456789 という 9 衔の読み取りデータに対して、{F2}03@→{F6}03→{F1}[SOH] の順でコマンドを実行した場合、かーるは次のように移動します。



その他コマンド

**FB** 現在のか-ル位置から右方向(終端方向)に検索し、指定キャラクタを抑止(削除)します。引数には、15 文字までの異なるキャラクタを指定可能です。このコマンドは、か-ル位置には影響を与えません。

**{FB}[ACK]**

現在のか-ル位置から右方向(終端方向)に検索し、ACK(06hex)を抑止(削除)します。

**{FB}0123456789ABCDE**

現在のか-ル位置から右方向(終端方向)に検索し、0~9(30~39hex), A~E(41~45hex)を抑止(削除)します。

**FC** 先の FB コマンドで抑止(削除)したキャラクタを復活させます。このコマンドは、か-ル位置には影響を与えませんが、抑止(削除)したキャラクタを全て復活させたい場合は、F7 コマンドでか-ル位置を先頭に戻してから FC コマンドを実行する必要があります。

**{F7}{FC}**

か-ル位置を先頭に戻した後、FB コマンドで抑止(削除)したキャラクタを復活させます。

**E4** 現在のか-ル位置から右方向(終端方向)に検索し、指定キャラクタを別のキャラクタに置換します。引数には、15 対(対象キャラクタと置換キャラクタ)までの異なるキャラクタを指定可能です。このコマンドは、か-ル位置には影響を与えません。

**{E4}1A2B**

現在のか-ル位置から右方向(終端方向)に検索し、1(31hex)を A(41hex)、2(32hex)を B(42hex)に置換します。

**{E4}1[ HT]2[ CR]**

現在のか-ル位置から右方向(終端方向)に検索し、1(31hex)を TAB(09hex)、2(32hex)を CR(0Dhex)に置換します。

**E5** 先の E4 コマンドで置換したキャラクタを復活させます。このコマンドは、か-ル位置には影響を与えませんが、抑止(削除)したキャラクタを全て復活させたい場合は、F7 コマンドでか-ル位置を先頭に戻してから E5 コマンドを実行する必要があります。

**{F7}{E5}**

か-ル位置を先頭に戻した後、E4 コマンドで置換したキャラクタを復活させます。

**カーソルって？**

読み取りデータの何桁目を指しているかを示すポインタです。カーソルは、最初読み取りデータ 1 衔目(先頭)を指し、以降実行されたコマンドにより、位置を移動させます。例えば、123456789という9 衔の読み取りデータに対して、{F2}03@→{F6}03→{F1}[SOH] の順でコマンドを実行した場合、カーソルは次のように移動します。



- FE** 指定キャラクタと現在のかーソル位置のキャラクタを照合し、合致すれば、かーソルを右方向(終端方向)に 1 衔移動させます。合致しなかった場合は、編集フォーマットを適用しません。

{FE}A  
A(41hex)と現在のかーソル位置のキャラクタを照合します。

{FE}[ACK]  
ACK(06hex)と現在のかーソル位置のキャラクタを照合します。

- EC** 現在のかーソル位置のキャラクタをクリックし、数字 0~9(30~39hex)の場合は、編集フォーマットを適用し、そうで無い場合は、適用しません。

{EC}  
現在のかーソル位置のキャラクタをクリックします。例えば、現在のかーソル位置のキャラクタが A(41hex)の場合、処理をスキップし、編集フォーマットを適用しません。

- ED** 現在のかーソル位置のキャラクタをクリックし、数字 0~9(30~39hex)で無い場合は、編集フォーマットを適用し、そうで無い場合は、適用しません。

{ED}  
現在のかーソル位置のキャラクタをクリックします。例えば、現在のかーソル位置のキャラクタが 1(31hex)の場合、処理をスキップし、編集フォーマットを適用しません。

- EF** 最大 49,995 ミ秒のデリイを挿入します。このコマンドは、キーボード インターフェイスにのみ有効です。

書式は、EFnnnn で、nnnn には 0001~9999(設定単位 5 ミ秒)を指定します。

{EF}0010  
50 ミ秒( $10 \times 5$  ミ秒)のデリイを挿入します。

### カーソルって？

読み取りアドレスの何桁目を指しているかを示すポインタです。カーソルは、最初読み取りアドレス 1 衔目(先頭)を指し、以降実行されたコマンドにより、位置を移動させます。例えば、123456789 という 9 衔の読み取りアドレスに対して、{F2}03@→{F6}03→{F1}[SOH] の順でコマンドを実行した場合、カーソルは次のように移動します。



## A.4.2 データ編集フォーマットの種類

データ編集フォーマットには、下記に示す4種類があり、用途に応じて使い分けることができます。

### フライマリデータ編集フォーマット (Primary)

通常適用されるデータ編集フォーマットです。

### オルタネイトデータ編集フォーマット 1~3 (Alternate 1~3)

一時的にデータ編集フォーマットを切り替えて使用したい場合に利用します。下記に掲載しているコマンドバーコードを読み取ることで、一時的に指定のオルタネイトデータ編集フォーマットを適用することができます。このデータ編集フォーマットは、コマンドバーコードを読み取った直後の読み取りデータに一度だけ適用され、その後、フライマリデータ編集フォーマットに復帰します。

オルタネイトフォーマット 1  ~ V S A F 1 .	オルタネイトデータ編集フォーマット 1 一時的にオルタネイトデータ編集フォーマット 1 に切り替えます。一度、コードを読み取ると、フライマリデータ編集フォーマットに復帰します。
オルタネイトフォーマット 2  ~ V S A F 2 .	オルタネイトデータ編集フォーマット 2 一時的にオルタネイトデータ編集フォーマット 2 に切り替えます。一度、コードを読み取ると、フライマリデータ編集フォーマットに復帰します。
オルタネイトフォーマット 3  ~ V S A F 3 .	オルタネイトデータ編集フォーマット 3 一時的にオルタネイトデータ編集フォーマット 3 に切り替えます。一度、コードを読み取ると、フライマリデータ編集フォーマットに復帰します。

### A.4.3 データ編集機能の設定例

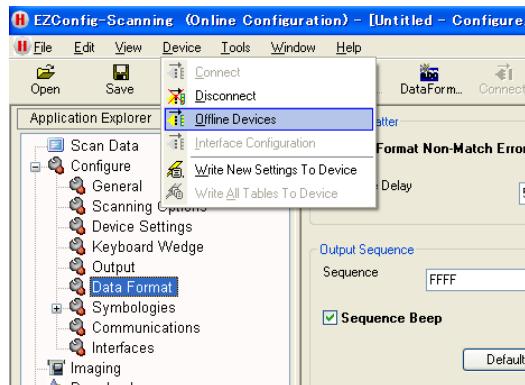
ここでは、下記の条件を元に実際に EZConfig を利用して、データ編集機能を設定してみましょう。

#### 設定条件例

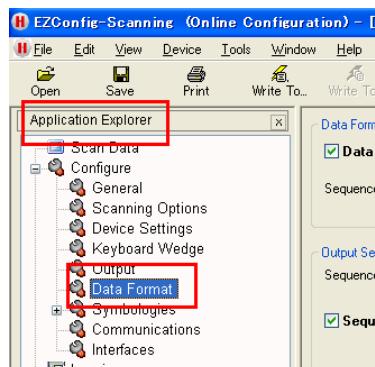
- 全ての読み取りシップルに適用
- 全ての行数の読み取りデータに適用
- 読取りデータの 2 行目から 5 行に TAB(09hex)をつけて送信
- 読取りデータの先頭から全データに TAB(09hex)をつけて送信

早速、EZConfig を使って、設定を行ってみましょう。

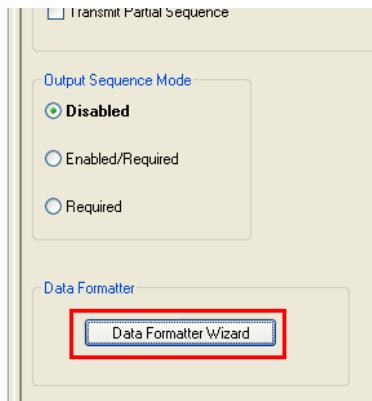
1. PC にスキャナを接続し、EZConfig を立ち上げます。オンラインで設定を行う場合は、PC と RS232C インターフェイス又は USB バーチャル COM インターフェイスで接続する必要があります。その他のインターフェイスをご使用の場合は、オフライン「Offline Devices」を選択し、続いて、ご使用のスキャナの機種を選択します。



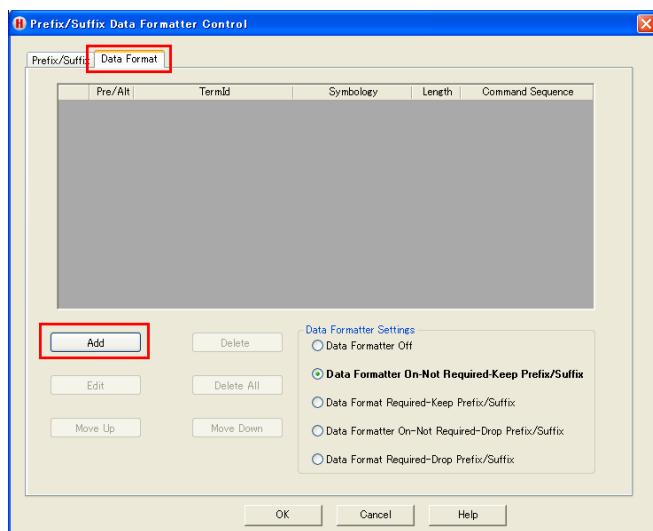
2. 「Application Explorer」から「Data Format」をクリックします。



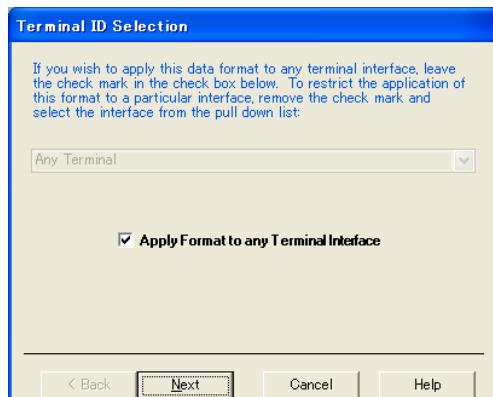
3. 「Data Format Wizard」をクリックして、ワザードを起動します。



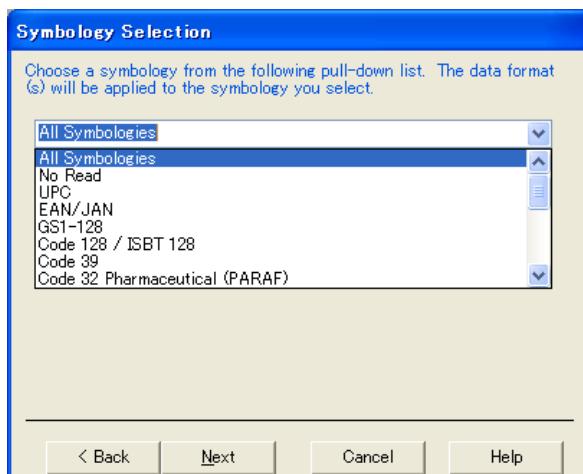
4. 「Data Format」タブに切り替え、「Add」ボタンをクリックして、データ編集フォーマットの追加を行います。



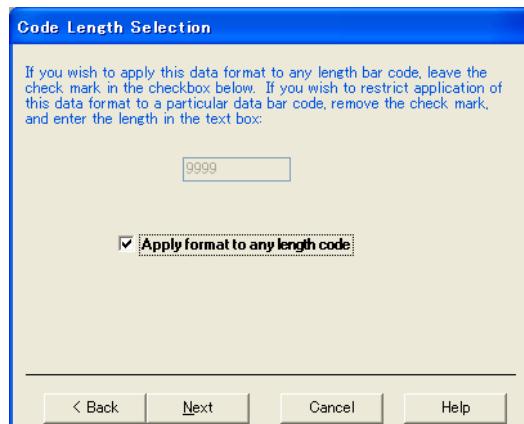
5. どのターミナル ID(インターフェイ)に対して、データ編集フォーマットを適用するかを選択します。通常は、全てのターミナル ID に適用するので、そのまま「次へ」をクリックして進みます。



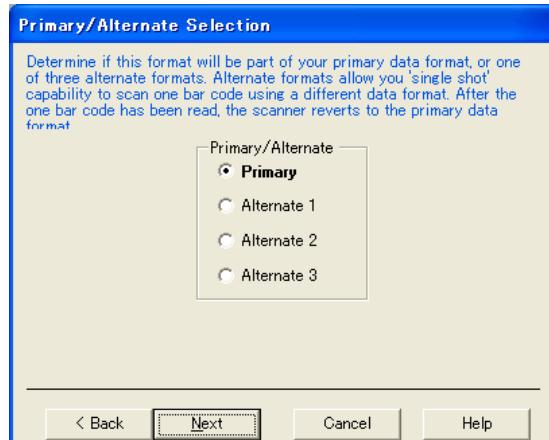
6. どの読み取りシボルに対して、データ編集フォーマットを適用するかを選択します。特定の読み取りシボルにだけ適用したい場合は、そのシボルを選択してください。ここでは、全ての読み取りシボルを対象とするので、「All Symbologies」を選択して、次に進みます。



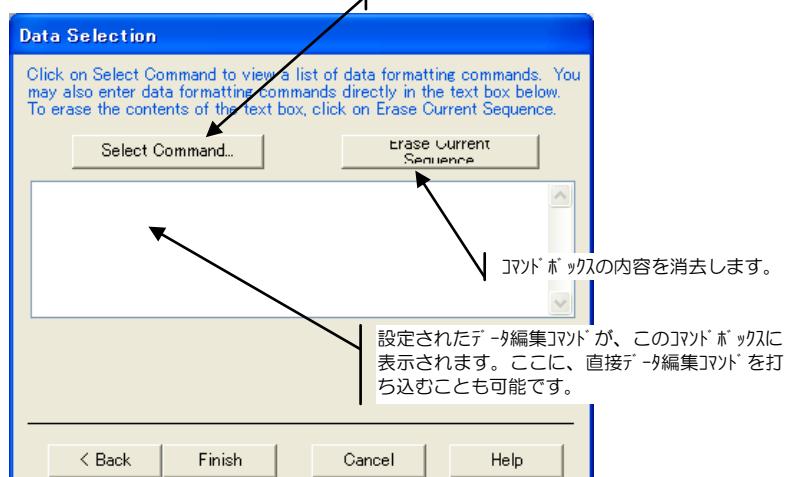
7. 何桁の読み取りデータに対して、データ編集フォーマットを適用するかを選択します。特定の桁数の読み取りバーコードにだけ適用したい場合は、その桁数を入力してください。ここでは、全ての桁数を対象とするので、「Apply format to any length code」を選択して、次に進みます。



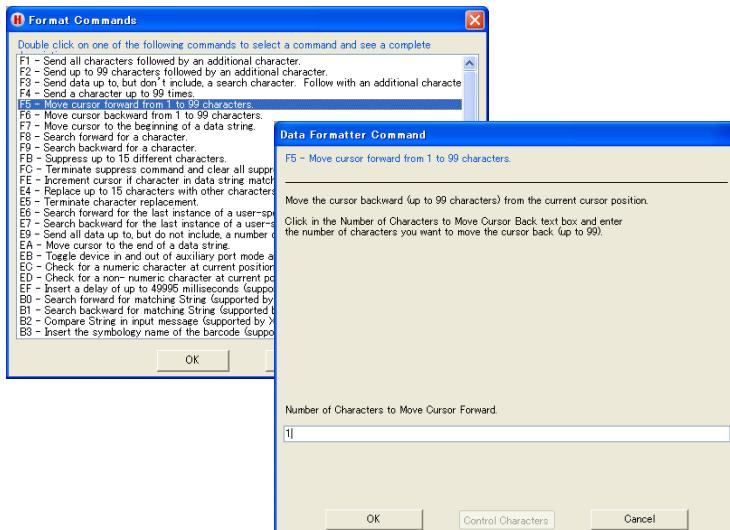
8. データ編集フォーマットの種類を選択します。詳しくは、本書「A.4.2 データ編集フォーマットの種類」を参照ください。ここでは、プライマリデータ編集フォーマット(Primary)を選択して、次に進みます。



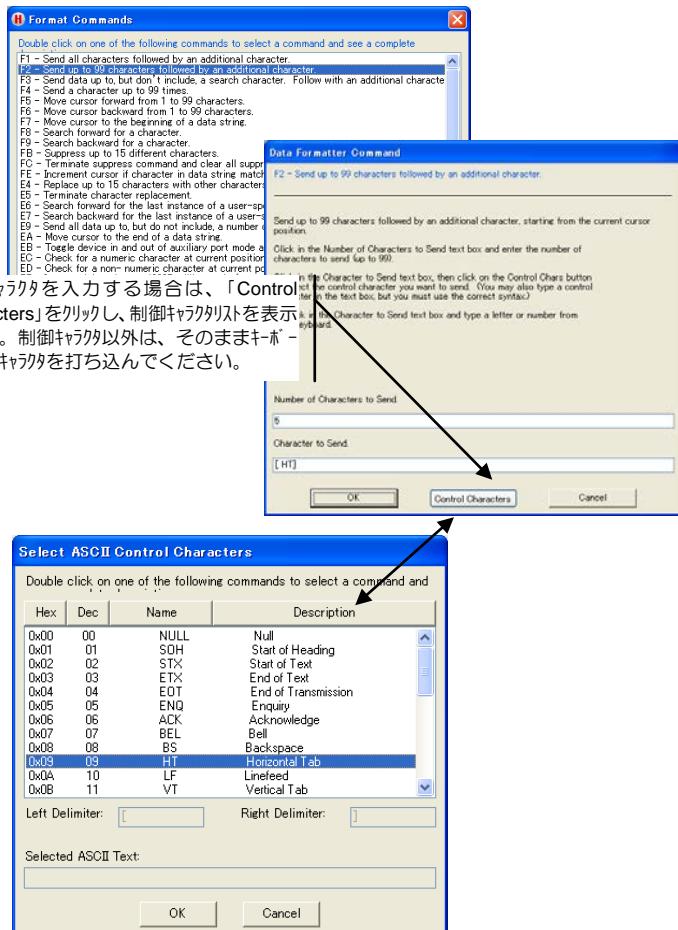
9. 「Select Command」をクリックして、データ編集コマンドの選択に移ります。



10. カーソルを2桁目へ移動させるため、F5コマンドを選択して「OK」をクリックします。  
続けて、移動させる桁数として、1を入力して、「OK」をクリックします。

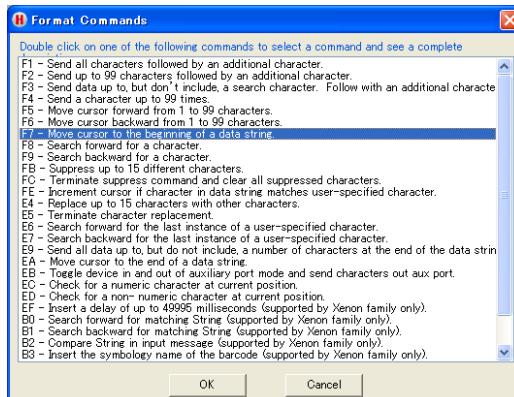


11. 現在のかursor位置から5桁のデータにTAB(09hex)を付加して送信するので、F2コマンドを選択し、桁数を5、付加送信キャラクタをTABに設定します。

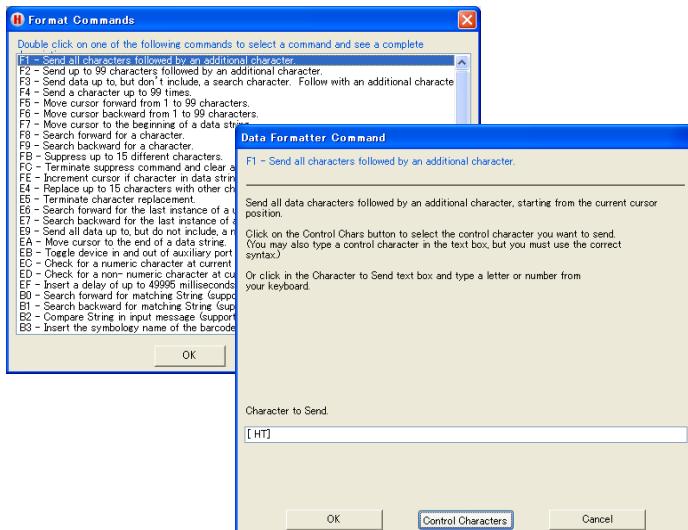


制御キャラクタを入力する場合は、「Control Characters」をクリックし、制御キャラクタリストを表示します。制御キャラクタ以外は、そのままキーボードからキャラクタを打ち込んでください。

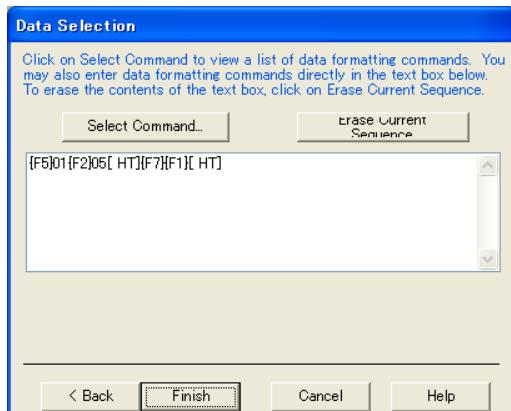
12. 現在のか-ル位置を先頭に戻すため、F7コマンドを選択します。



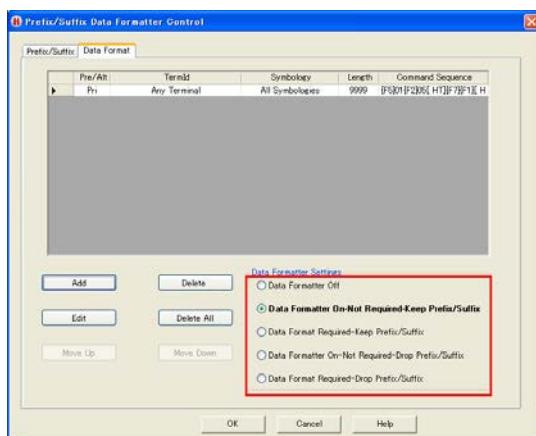
13. 現在のか-ル位置以降の全読取データにTAB(09hex)を付加して、送信するので、F1コマンドを選択し、付加送信キャラクタをTABに設定します。



14. 組み立てられた編集コマンドが、下記のようになっていれば成功です。  
「Finish」をクリックして最初の画面に戻ります。



15. この一連の作業を繰り返すことで、複数のデータ編集フォーマットを登録することができる可能です。



#### Data Formatter Off

データ編集フォーマットを適用しません。

#### Data Formatter On-Not Required—Keep Prefix/Suffix

データ編集フォーマットを適用(必須ではない)します。プリフィックス/サフィックスも適用します。

#### Data Formatter Required—Keep Prefix/Suffix

データ編集フォーマットを必ず適用します。適用できないデータはエラーとなります。プリフィックス/サフィックスも適用します。

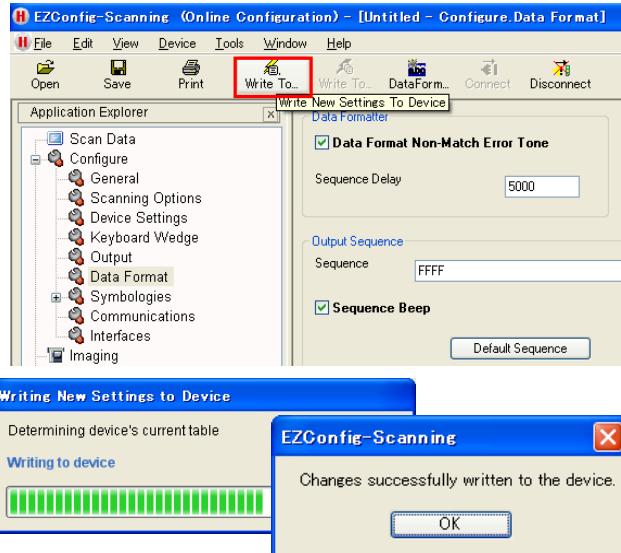
#### Data Formatter On-Not Required—Drop Prefix/Suffix

データ編集フォーマットを適用(必須ではない)します。プリフィックス/サフィックスは適用しません。

#### Data Formatter Required—Drop Prefix/Suffix

データ編集フォーマットを必ず適用します。適用できないデータはエラーとなります。プリフィックス/サフィックスは適用しません。

16. 設定が完了すれば、「Write to ...」アイコンをクリックして、**ズキナ**に設定値をダウロードします。

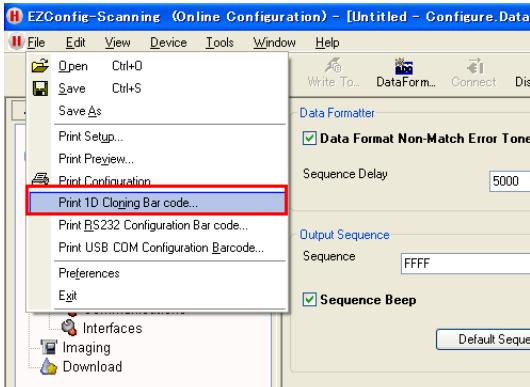


「Changes successfully written to the device」というメッセージが表示されればダウロードは成功です。

尚、本書では、**インタフェイ**や**読み取**]ドの設定は行っていませんが、運用に適切な設定を行った上で、設定値のダウロードを行ってください。

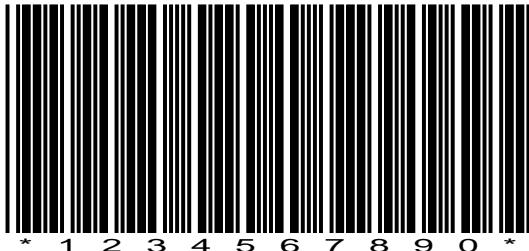
#### オンライン設定の場合

「File」...「Print 1D Cloning Barcode ...」を実行し、メニュー]コード表を印刷してください。印刷したメニュー]コード表をズキナで読み取ると、全ての設定内容がズキナに反映されます。



最後に下記のサンプルバーコードを読み取って、設定変更が正しくできたかを確認してください。

サンプルバーコード



「1234567890」というデータがエンコードされています。以下のように出力されればデータ編集フォーマットが正しく設定されています。

<フリックス>23456<TAB>1234567890<TAB><フリックス>

## A.5 コード ID 表

シンボル	AIM-ID	AIM モディファイア(m)	コード ID
全シンボル			(0x99)
オーストラリア郵便コード	]X0		A(0x41)
Aztec コード	]zm	0-9, A-C	z(0x7A)
イギリス郵便コード	]X0		B(0x42)
加拿大郵便コード	]X0		C(0x43)
中国郵便コード	]X0		Q(0x51)
中国センブルコード (Han Xin Code)	]X0		H(0x48)
コードバ - (NW7)	]Fm	0-1	a(0x61)
コードブロック A	]O6	0-1,4-6	V(0x56)
コードブロック F	]Om	0-1,4-6	q(0x71)
コード 11	]H3		h(0x68)
コード 128	]Cm	0-2,4	j(0x6A)
GS1-128	]C1		l(0x49)
コード 16K	]Km	0-2,4	o(0x6F)
コード 32 ファーヴ(PARAF)	]X0		<(0x3C)
コード 39	]Am	0-1,3-5,7	b(0x62)
コード 49	]Tm	0-2,4	l(0x6C)
コード 93 & 93i	]Gm	0-9, A-Z,a-m	i(0x69)
データマトリクス	]dm	0-6	w(0x77)
JAN/EAN-13(Bookland EAN を含む)	]E0		d(0x64)
EAN-13 w/アド オンコード	]E3		d(0x64)
EAN-13 w/拡張クーポンコード	]E3		d(0x64)
JAN/EAN-8	]E4		D(0x44)
JAN/EAN-8 w/アド オンコード	]E3		D(0x44)
GS1 ソフト ワット	]em	0-3	y(0x79)
GS1 Databar	]em	0	y(0x79)
InfoMail	]X0		,(0x2C)
インテリジェントメールバーコード	]X0		M(0x4D)
インターリード 25	]Im	0-1,3	e(0x65)
日本郵便コード (カスタマバーコード)	]X0		J(0x4A)
KIX 郵便コード	]X0		K(0x4B)
韓国郵便コード	]X0		? (0x3F)
マトリクス 25	]X0		m(0x6D)
マキシコード	]Um	0-3	x(0x78)
マイクロ PDF417	]Lm	3-5	R(0x52)
MSI	]Mm	0	g(0x67)

シボル	AIM-ID	AIM モディファイ(m)	コード ID
NEC 2/5 (COOP 2/5)	JX0		Y(0x59)
OCR MICR (E-13B)	Jo3		O(0x4F)
OCR SEMI フォント	Jo3		O(0x4F)
OCR-A	Jo1		O(0x4F)
OCR-B	Jo2		O(0x4F)
PDF417	JLm	0-2	r(0x72)
Planet コード	JX0		L(0x4C)
Postal-4i	JX0		N(0x4E)
Postnet	JX0		P(0x50)
QR コード /MicroQR コード	JQm	0-6	s(0x73)
ストレート 25 IATA	JRm	0-1,3	f(0x66)
ストレート 25 インターバル	JS0		f(0x66)
TLC39	JL2		T(0x54)
Telepen	JBm		t(0x74)
UPC-A	JE0		c(0x63)
UPC-A w/アド オンコード	JE3		c(0x63)
UPC-A w/拡張クーポンコード	JE3		c(0x63)
UPC-E	JE0		E(0x45)
UPC-E w/アド オンコード	JE3		E(0x45)
UPC-E1	JE0		E(0x45)

## A.6 キーボードコード対応表

ファンクションキー対応表 (AT, PS/2, DOS/V)							
	0	1	2	3	4	5	6
0	F11	SP	0	@	P	'	p
1	Enter*	HOME	!	1	A	Q	a
2	CAPS LOCK	Print	"	2	B	R	b
3	ALT make	BS	#	3	C	S	c
4	ALT break	Back TAB	\$	4	D	T	d
5	CTRL make	F12	%	5	E	U	e
6	CTRL break	F1	&	6	F	V	f
7	Enter	F2	'	7	G	W	g
8		F3	(	8	H	X	h
9	TAB	F4	)	9	I	Y	i
A		F5	*	:	J	Z	j
B	TAB	F6	+	;	K	[	k
C	DEL	F7	,	<	L	¥	l
D	Enter	F8	-	=	M	]	m
E	INS	F9	.	>	N	^	n
F	ESC	F10	/	?	O	_	o

CTRL+ASCII 対応表 (AT, PS/2, DOS/V)							
	0	1	2	3	4	5	6
0	CTRL+@	CTRL+P	SP	0	@	P	'
1	CTRL+A	CTRL+Q	!	1	A	Q	a
2	CTRL+B	CTRL+R	"	2	B	R	b
3	CTRL+C	CTRL+S	#	3	C	S	c
4	CTRL+D	CTRL+T	\$	4	D	T	d
5	CTRL+E	CTRL+U	%	5	E	U	e
6	CTRL+F	CTRL+V	&	6	F	V	f
7	CTRL+G	CTRL+W	'	7	G	W	g
8	CTRL+H	CTRL+X	(	8	H	X	h
9	CTRL+I	CTRL+Y	)	9	I	Y	i
A	CTRL+J	CTRL+Z	*	:	J	Z	j
B	CTRL+K	CTRL+[	+	;	K	[	k
C	CTRL+L	CTRL+¥	,	<	L	¥	l
D	CTRL+M	CTRL+]	-	=	M	]	m
E	CTRL+N	CTRL+^	.	>	N	^	n
F	CTRL+O	CTRL+_-	/	?	O	_	o

- 太点線で囲まれた部分はファンクションキー及び CTRL+ASCII キーを意味します。  
これらは一部の機種で正しく動作しない場合があります。
- CR\*は、テキパッドの ENTER キーを意味します。

特殊キー-コード表	
↑	ALT + 128
↓	ALT + 129
→	ALT + 130
←	ALT + 131
Insert	ALT + 132
Delete	ALT + 133
Home	ALT + 134
End	ALT + 135
Page Up	ALT + 136
Page Down	ALT + 137
右 ALT	ALT + 138
右 CTRL	ALT + 139
予約	ALT + 140
予約	ALT + 141
Enter (タブ-)	ALT + 142
/ (アンダーバー)	ALT + 143
F1	ALT + 144
F2	ALT + 145
F3	ALT + 146
F4	ALT + 147
F5	ALT + 148
F6	ALT + 149
F7	ALT + 150

**A.7 ASCII カード表**

ASCII カード表								
	0	1	2	3	4	5	6	7
0	NUL	DLE	SP	0	@	P	`	p
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q
2	STX	DC2	"	2	B	R	b	r
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s
4	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	t
5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v
7	BEL	ETB	'	7	G	W	g	w
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y
A	LF	SUB	*	:	J	Z	j	z
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	
D	CR	GS	-	=	M	]	m	}
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~
F	SI	US	/	?	O	_	o	DEL

## A.8 トラブルシューティング

### 電源が入らない

- ケーブルは正しく接続されていますか？
- AC アダプタ (RS232C タイプ) は正しく接続されていますか？
- PC の電源 (キーボード / USB タイプ) は入っていますか？

### バーコードを読み取らない

- 対象のコードの品質は悪くないですか？ 汚れたコード、劣化したリボンで印刷したコード、複写したコードなど、品質の悪いコードは読み取り不良や誤読の原因となりますので避けてください。
- 対象のコード種を読み取れるように設定していますか？
- チェックデバイドが付加されていないコードに対して、チェックデバイド有りと設定していませんか？
- 読取窓は汚れていませんか？

### バーコードを読み取りづらい

- 対象のコードの品質は悪くないですか？ 品質の悪いコードは読み取り不良や誤読の原因となります。
- 読取窓は汚れていませんか？

### PCにデータが入らない

- ケーブルは正しく接続されていますか？
- ワイヤレスキヤナとペーステーションのリンクは正しく確立されていますか？
- Bluetooth ドングルと正しく SPP 接続を確立できていますか？
- スキヤの設定は間違っていませんか？  
本書「4.2 スキヤの簡単セットアップ」を参考にスキヤの再初期化を行った後、PC の電源を再立ち上げしてください。

症状に変化がない場合は、弊社又はお近くの販売店までご連絡ください。

A.10 サンプルコード

UPC-A



イソターリーブド 25



コード 128



C o d e 1 2 8

EAN/JAN-13



コード 39



\* CODE 39 \*

コード 1A-(NW7)



コード 93



コード 25



## 修理依頼書

修理を依頼される場合は、下記の用紙に必要事項を記入し、修理品と一緒に販売店へご返送ください。尚、修理は全てセドック方式で行います。現地での出張修理などは一切行いません。

修理依頼書			
依頼日			
会社名			
部署名			
担当者			
メールアドレス			
電話番号		FAX番号	
ご住所			
販売店名		ご購入日	
製品型番（名称）			
製造番号（S/N）			
付属品	ケーブル[ ]・ACアダプタ		
トラブルの症状を詳しく記入してください。 また、症状を確認するために必要なバーコードラベルや磁気カード等があれば、修理品に添付してお送りください。			
症状発生頻度	□ 常に起こる □ 1日に [ ]回程度		
インターフェイス	□ キーボード □ RS232C □ USB □ その他 [ ]		
接続ホスト	メーカー [ ] 型番 [ ]		
その他、使用状況を記入ください。			
返送先			
見積・請求先			
スポットサービス時は、修理見積後に修理をキャンセルされた場合に限り、見積料として弊社所定の料金を申し受けます。ご了承いただける場合は、押印の上、修理品に添付してご返送ください。		ご確認印	

**拡大コピーしてお使いください**